

# 豊中アジェンダ21

—地球環境を守るとよなか市民行動計画—



1999年(平成11年)3月

とよなか市民環境会議

## はじめに

「豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）」は、21世紀にむけて、持続可能な社会をつくっていくための豊中市民と事業者の役割と行動を、広く市民や事業者に提案しようとするものです。

このアジェンダ21の作成にあたって、とよなか市民環境会議は、生活、自然、産業、交通の4つの部会を立ち上げました。各部会では行動提案を検討する過程で、市民、事業者、行政が本当に取り組んでいくことができるのか、絵に描いた餅になる恐れはないか、誰が推進役になるのか、未来に生きる子どもたちの参加が得られるのか、豊中らしいアジェンダ21とは何だろうかなどの議論を行ってきました。

作成の過程もまた必ずしも平坦な道ではありませんでした。産業部会に参加した事業所の担当者は当初は、「また、行政からいろいろとお荷物を背負わされるのではないか」、という不安を抱きながら参加していました。行政の参加者も、市民が行政に要求を突きつけるだけの会議ではないかと反発をした場面もありました。市民も「行政は何をしてくれるの?」と、不満をぶつけた会議もありました。

こうした節目節目の場面に、アドバイザーの方々からいろいろな情報やアドバイスをいただきました。世界の事業所が自発的に環境問題に取り組んでいるISO14000シリーズをめぐる動向、各地の環境家計簿運動の情報、鎌倉やフライブルグの交通問題への取り組み、蟻の目・犬の目・鳥の目などの自然を見る多様な視点など、この2年間、私たちの活動の傍らにいて、方向の修正を行って下さった弘本由香里さん、横村久子さん、佐川直史さん、新田保次さん、さらに、とよなか市民環境会議のコーディネーターとして運動の大きな方向についての示唆をいただいた盛岡通さんのお力添えもわたしたちにとって貴重な財産となりました。

とよなか市民環境会議のこれまでの活動は、単に行政の計画に参加し、行政のお手伝いをするというものでなく、市民も事業者も行政も対等の立場に立って、子どもたちの将来のために何を行なうかを話し合う、政策の立案段階への参画を模索するものでした。パートナーシップは、各主体が平等の立場で協力し合って、それぞれができる範囲で自主的・主体的に行動計画に取り組んで行く中から創り出されてきます。

アジェンダ21づくりに参加して来たわたしたちは、市民の一員として、この計画に自らも取り組む中で、ひとりでも多くの市民にこの地球環境を守る市民運動に加わっていただけるよう働きかけて行きたいと考えています。

とよなか市民環境会議

# 目次

## 第一部 アジェンダとはなにか？

- 1章. より良い豊中の環境を創るために ————— 1
- 2章. 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）  
のめざすもの ————— 5

## 第二部 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）

- 1章. 地球環境のために暮らし方を変えよう ————— 8
- 2章. 自然のゆたかな豊中にしていこう ————— 17
- 3章. 環境に配慮した事業活動をすすめよう ————— 26
- 4章. 環境に配慮した交通のありかたを考えよう ————— 36
- 5章. パートナースhipで地球環境を守ろう ————— 45

## 第三部 豊中アジェンダ21の実行体制のあり方

- 1章. 推進体制 ————— 51
- 2章. 普及啓発活動 ————— 52
- 3章. 総会とシンポジウムの運営 ————— 51
- 4章. 市民環境会議の組織基盤の確立 ————— 54
- 5章. その他の課題 ————— 54

## 資料

- 1. 策定の経過 ————— 55
- 2. 市民意見 ————— 57
- 3. 市民の環境目標 ————— 61
- 4. 企業人の環境目標 ————— 62
- 5. とよなかエコオフィス21活動チェックリスト（事業所用） ————— 63
- 6. とよなかエコオフィス21活動チェックリスト（個人用） ————— 65
- 7. 行動提案一覧 ————— 66

## 第一部 アジェンダとはなにか？

---

1章. より良い豊中の環境を創るために

2章. 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）の  
めざすもの

# 1章. より良い豊中の環境を創るために

## 1. ローカルアジェンダ21

地球温暖化、オゾン層の破壊、野生生物種の減少といった地球規模の環境問題が私たち人類を脅かしつつあります。このような地球環境問題は、開発途上国に見られる人口の急激な増加や貧困、先進国に見られる大量生産・大量消費など、私たちの日常生活全てが直接的・間接的に原因となっています。そのため、問題の解決にあたっては、あらゆる人々が協力し、それぞれの立場でできるところから、すぐに取り組んでいくことが必要となっています。

人類は歴史上の決定的な瞬間に立たされている。国家間および国内において絶えることのない不均衡、貧困、飢餓、病気、識字率の低下、そして生存の基盤である生態系の悪化にわれわれは直面している。しかしながら、環境と開発を統合し、これに、より大きな関心をはらうことにより、人間の生存にとって基本的ニーズを充足させ、生活水準の向上を図り、生態系の保護と管理を改善し、安全でより繁栄する未来へつなげることができる。いずれの国も自国だけではこれを達成することはできないが、持続可能な開発のためのグローバルパートナーシップを促進することにより、ともに達成することが可能となる。……

アジェンダ21は今日の差し迫る問題を扱うとともに、次世紀の課題に対して世界が準備することをめざしている。……アジェンダ21に提示された内容が成功裏に実施されるか否かは、第一に政府の責任にかかっている。この達成のために、国の戦略、計画、政策、および推進過程は極めて重要である。……できるだけ多くの民衆の参加と、非政府組織（NGO）や他のグループの積極的なかわりも奨励されるべきである。

(アジェンダ21前文より)

そのような認識に立ち、1992年、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」で、21世紀に向けて私たちが行動しなければならない計画「アジェンダ21」が採択されました。

また、アジェンダ21で提起している問題とその解決策の多くが地域的な活動に根ざしていることから、アジェンダ21の条文のなかで、地方公共団体および市民・地域団体・民間企業の参加協力による地域課題のためのローカルアジェンダ21が必要であるとしています。

豊中アジェンダ21策定の作業もこのアジェンダ21の決定を受けてすすめてきたものです。

## 2. 環境問題で問われているもの

### 1) 地球の温暖化

私たちの住んでいる地球はさきにも述べたように、さまざまな環境問題を抱えています。なかでも、いま地球はかつてない速さで温暖化に向かっていきます。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の調査では、このままの勢いで温暖化がすすめば、21世紀の終わりには地球の平均

気温は現在よりも2度も上昇すると予測しています。

地球の温暖化の進行により、干ばつや豪雨などの異常気象やそれにもなう農業被害、マラリアなど熱帯の伝染病の流行、生態系の破壊などが起こり、人類の生存すら危ぶまれる事態になるのではないかと心配されています。

現在進行している地球の温度上昇は、二酸化炭素などの温室効果をもつガスの増加が原因だといわれています。これは、石油や石炭などの化石エネルギーを大量に消費し、多くの工業製品を造り出し、一方で二酸化炭素を吸収する森林などを伐採してきた、私たちの生活や産業のあり方に大きな原因があります。

## 2) 豊中のエネルギー使用量と二酸化炭素の排出

1996年の豊中市内の電気・ガスのエネルギー総使用量をみると、それまでの10年間に42%増加していることがわかります。これはエアコンや大型家電製品などの民生用機器の使用量の増加が原因であるとみられます。

豊中市の市民一人あたりの二酸化炭素排出量は、全国平均に比べてかなり低いものとなっていますが、これは火力発電や大規模な生産工場など、エネルギー消費の大きい部門を他地域に依存している住宅都市の特徴と考えられます。さらに部門別では、民生（事業所や家庭）部門の寄与率が全国平均より高いのも住宅都市の特徴といえます。

## 3) ライフスタイルの見直し

豊中市が行った、「豊中市民の行動による二酸化炭素排出量削減可能性の試算」によれば、2010年の豊中市の二酸化炭素排出量は、このまま大量消費型の生活が続くと、1990年レベルより28.4%増加すると予測されています。しかし、これを国の省エネルギー政策に準じて、電化製品などの効率改善、自動車の燃費改善、建物設備の省エネルギー構造化の推進、大量消費型のライフスタイルからの転換などを行なうことにより、1990年レベルより排出量総量を10.3%削減できる可能性が示されています。このことは、社会システムの変革と同時に市民のライフスタイルを見直すささやかな行動によっても、大きな効果を生むことを示しています。

## 4) パートナーシップでの取り組みの必要性

地球環境を守るために、すべての人々が、それぞれの立場に応じて、あらゆる活動を環境の立場から見直すことが求められています。「地球規模で考えて、足元から行動を起こす」ために、私たち一人ひとりの行動が決定的な役割を果たします。そのため、行政だけでなく、市民や事業者など地域社会の全員が信頼とパートナーシップの精神の下で、その実現に向けて行動しなければなりません。

この『豊中アジェンダ21』は、市民・事業者・行政のパートナーシップ組織である、「とよなか市民環境会議」によってまとめられたものです。

### 3. 市民・事業者・行政の役割

#### 1) 市民の役割

地球環境を守るための行動は、地域や家庭、働く場など、私たち市民の日常生活に深く根ざしたものでなければなりません。一人ひとりの行動が大きな力を生んでいくためにも、市民が自発的に、またできることから行動し、広げていく必要があります。

#### 2) 事業者の役割

事業者は、自らの事業所の資源の使用効率を改善することや、廃棄物をできるだけ少なくすること、および人類の健康や環境の質を保護することに主要な役割を果たすことができます。

豊中市でもすでにエコオフィスやグリーン購入、ISO14000 シリーズの取得などの環境に配慮した事業活動に向けた取り組みが始まっています。

さらに、エコビジネス、ゼロエミッションなど、環境を対象としたあらたな産業形成にむけても検討をすすめていく必要があります。

#### 3) 行政の役割

地方自治体は環境に負荷の少ない持続可能な発展を推進するような市民的合意を形成する上で重要な役割もっています。市民、地域団体、商業・産業団体などと協働して、持続可能な発展の戦略について合意を得なければなりません。豊中市は豊中市環境基本計画においてさまざまな行政施策を進めるとともに、『豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）』を実行するとよなか市民環境会議を支援し、また自らも率先して取り組むことが決められています。

### 4. 「豊中アジェンダ21」策定までのあゆみ

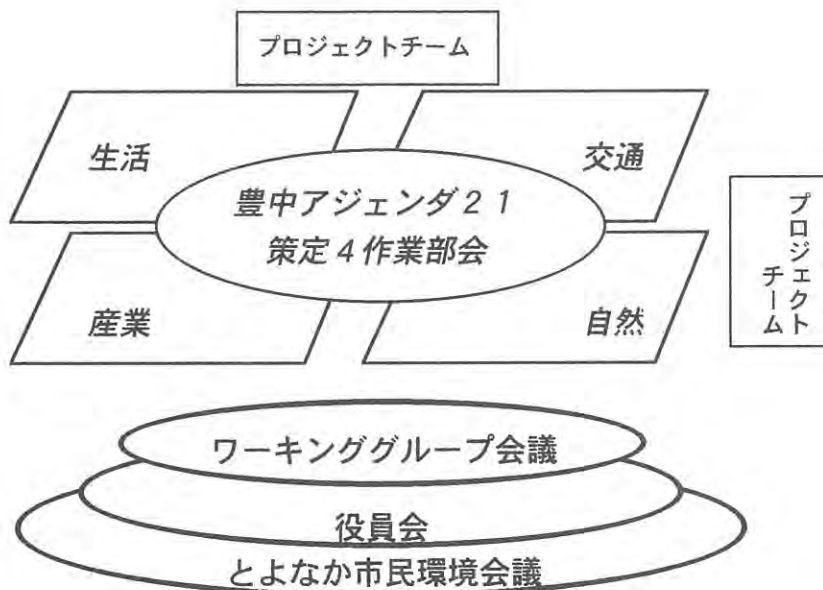
#### <とよなか市民環境会議>

豊中市では、1996年5月に市内の150団体が参加し、市民・事業者・行政が互いに協力し合って地球環境を守る取り組みを進めるためのパートナーシップ組織「とよなか市民環境会議」が発足しました。とよなか市民環境会議では、シンポジウム、環境フォーラムなどの他に、市民公募のワーキンググループ会議を毎月開催し、学習会、見学会、観察会などを行いました。

1997年には、構成団体に向けて、行動を呼びかけるハガキアンケートや、市民や事業者の環境問題に対する意識調査や、共通理解を得るための環境塾、豊中市伊丹市クリーンランドの見学、島熊山・千里川の見学などを行いました。

さらに、『豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）』の策定に向けて、とよなか市民環境会議は生活、自然、産業、交通の4つの作業部会を立ちあげて、市民自らの手による策定作業をすすめました。

そして、具体的な行動の段階では、課題ごとに部会を超えたプロジェクトチームを発足させました。



それぞれの作業部会に弘本由香里さん、榎村久子さん、佐川直史さん、新田保次さんにアドバイザーとして加わっていただきました。

1998年度には、「豊中市民版環境家計簿」「マイバッグキャンペーン」「ストップ・アイドリングステッカー」「エコオフィス21活動チェックリスト」の作成や、「ピオトープづくり」、「学校剪定枝の堆肥化」「環境出前講座」などの率先行動に取り組んできました。

「豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）」づくりは、この率先行動の体験を踏まえ、市民自らが取り組んで行けることを市民に呼びかけるものとなるようところがけてきました。第2部の“101の行動提案”は、できることから、無理をしないで持続的に取り組んでいただくための行動メニューです。

## 5. アジェンダ策定を支援していただいた専門家

コーディネーター	盛岡 通	大阪大学工学部教授
アドバイザー	生活部会 弘本 由香里	(株)大阪ガスエネルギー文化研究所
	産業部会 佐川 直史	(財)関西環境管理技術センター
	交通部会 新田 保次	大阪大学工学部助教授
	自然部会 榎村 久子	奈良県立商科大学教授



## 2章. 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）の

### めざすもの

#### 1. 理念・目標

『豊中アジェンダ21』は行政計画である『豊中市環境基本計画』と目標・理念（表2-1）を共有しています。まず、豊中の望ましい都市環境像を表すキャッチフレーズ（註）として、『**創ろう 風と光とせせらぎと ふれあいのまち とよなか**』を設定し、次の4点を環境政策のめざすべき基本方向（目標理念）としています。

#### 参加・協働

豊中に住み、働き、活動している市民・事業者・行政の各主体が、みずからの責任で、協働（パートナーシップ）による環境保全活動をすすめます。

#### 広域性・国際性

地球環境を守る取り組みを、身近な地域から実践し、周辺の市民や自治体との連携をすすめ、さらに、海外にも発信して交流をすすめます。

#### 資源循環・負荷低減

大量生産・大量消費の生活から、「もったいない」気持ちを取り戻し、資源やエネルギーを大切に子孫たちに伝える循環型社会の創造をすすめます。

#### 共存・共生

わたしたちは長い歴史の間を自然とともに生きてきました。さまざまな生き物たちがともに暮らすことのできるまちの保全と再生をすすめます。

そして、この4つの理念のもとに、12の望ましい環境像（表2-1）を明らかにしています。

また、共通の環境目標・指標として

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| ・ 協働（パートナーシップ）型活動参加者数 | ・ 雨水浸透率   |
| ・ 1人あたり二酸化炭素排出量       | ・ ごみの純排出量 |
| ・ 環境基準の達成状況           | ・ 緑被率     |

を設定しました。

一人でも多くの市民の参加と行動によって、これらの理念や環境目標・指標（表2-1）を達成していきましょう。

註 このキャッチフレーズは、平成10（1998）年12月から、環境展や市広報などを通じて募集したものであり、市民からの多種多様な提案を受けて、それを最大公約数的に集約したものである。なお、ここで使用されている単語は市民提案をそのまま用いている。

「風・光」という言葉には、自然を活かしたまちづくりや、さわやかさ、あたたかさ、透明性をイメージし、「せせらぎ」には生き物や水辺の景観、せせらぎの音環境をイメージした。そのうえで、人と人との出会いと「ふれあい」によってより良い環境づくりをすすめていこうとの思いを込めたものである。

表 2-1

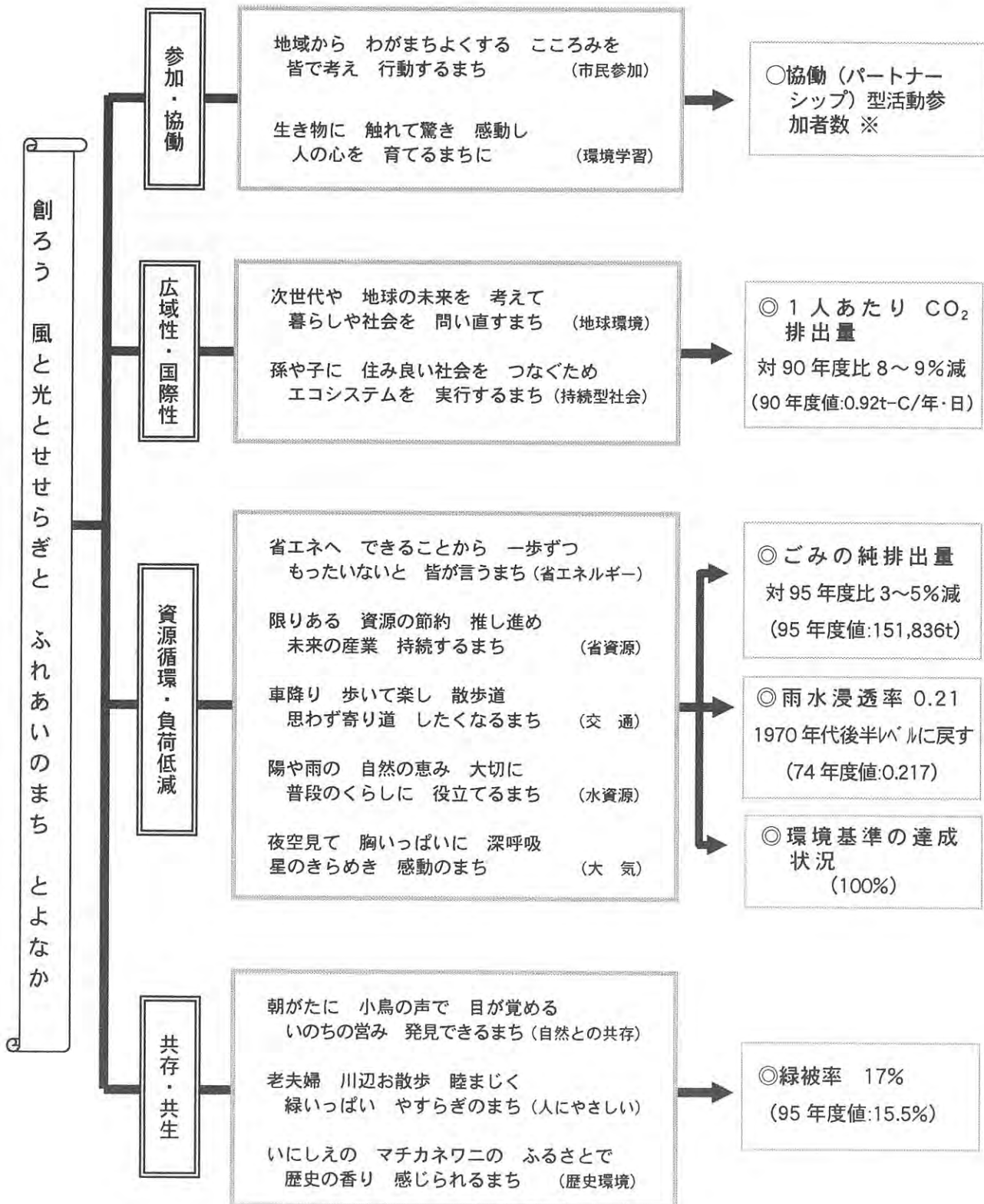
豊中アジェンダ 2.1 の理念と目標

めざすべき理念

望ましい環境像

環境目標・指標

注)◎目標数値のあるもの ○目標数値のないもの



・ 協働 (パートナーシップ) 型活動参加者数

現時点では具体的な数値の内容や目標値が設定されていないが、戦略的な指標と位置づけて市民環境会議の加入団体、行事への参加者数など適切な内容を別途に検討して、将来的には目標値を設定するものとする。

## 2. 率先行動

当面の行動目標として、これまでに実施してきた率先行動を継続しつつ、『豊中アジェンダ 21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）』をより広範な市民に伝える活動を行い、地球環境を守る行動に、一人でも多くの市民が参加できるようにすることが必要です。

今後、豊中アジェンダ 21 の推進体制を確立していく中で、より具体的な行動日程が作成され、内容や規模なども変わっていくと思われませんが、当面、これまでの率先行動の継続という観点から、次のような行動目標が考えられます。

テーマ	率先行動	97・98年度の実績	次年度以降の目標
環境に配慮した暮らし方の工夫	環境家計簿運動	・豊中市民版環境家計簿の作成と1万部配布	・普及活動と活用方法や実践マニュアルづくり ・環境教育との関係
	マイバッグ運動	・量販店8店舗の協力 ・アンケートの実施	・商店街や地域での普及
自身近自然をゆするたか取組	学校剪定枝の堆肥化運動	・10校で実施	・実施校の拡大
	ビオトープ（生き物の生息の場）づくり	・準備活動	・モデル校での具体化と環境学習との関係
	環境観察会	・猪名川自然林、水鳥観察会	・内容や回数の拡大 ・多くの団体との協力、各種催しとの関係
環境に配慮した交通の取組	アイドリングストップ運動	・ステッカー1万5千部配布	・配布方法の改善と実施率の拡大
環境に配慮した事業所の取組	とよなかエコオフィス21活動	・オフィスの環境度チェックリストの作成 ・約100社の参加	・参加事業所の拡大と行動呼びかけ
環境学習の普及と拡大	エコキャラバン隊活動	・約50ヵ所での講演活動（学習会）	・市内での開催回数をふやし、延べ参加人数を拡大する

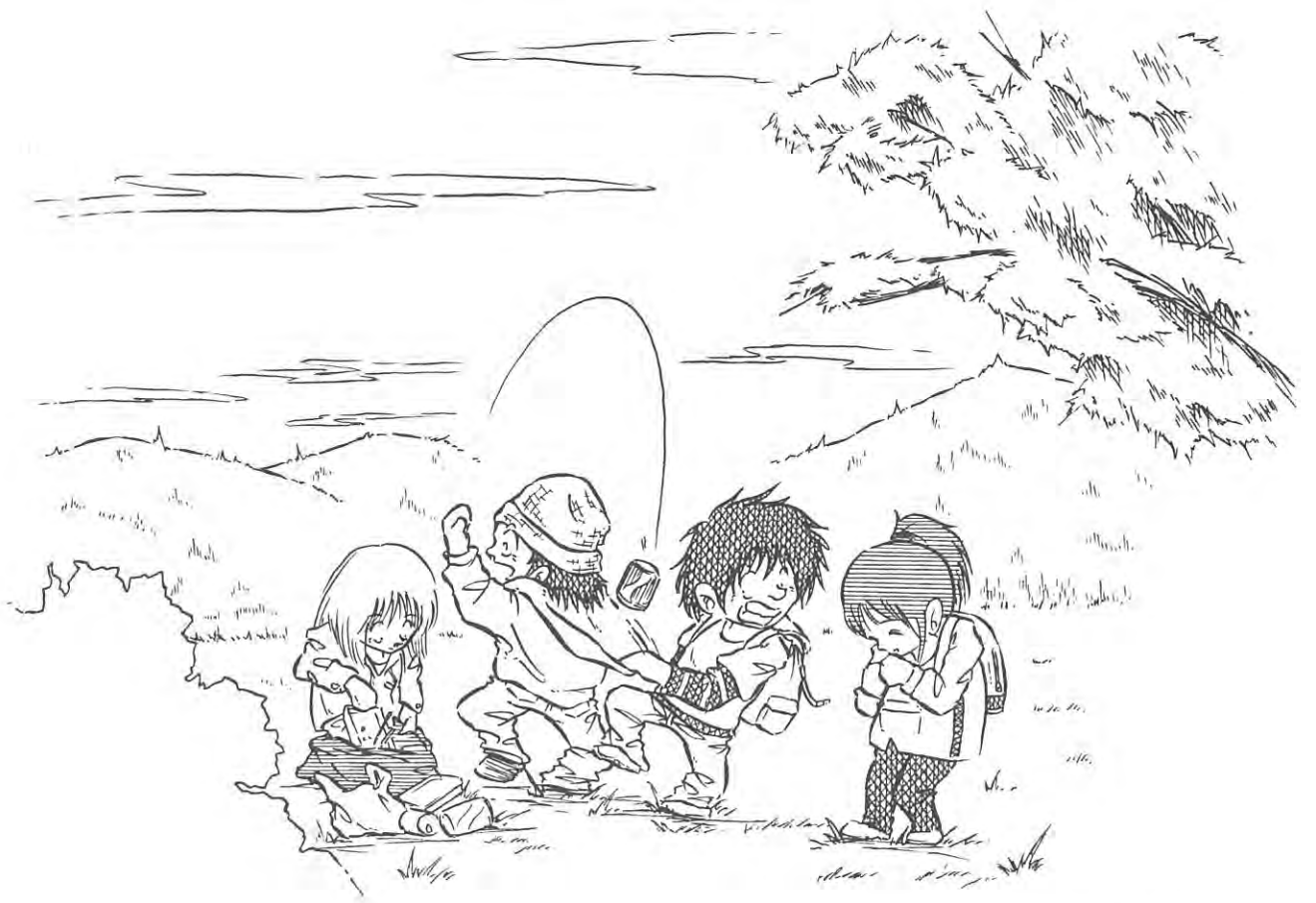
## 第二部 豊中アジェンダ21 —地球環境を守るとよなか市民行動計画—

---

- 1章. 地球環境のために暮らし方を変えよう
- 2章. 自然のゆたかな豊中にしていこう
- 3章. 環境問題に配慮した事業活動をすすめよう
- 4章. 環境問題に配慮した交通のあり方を考えよう
- 5章. パートナーシップで地球環境を守ろう

次世代や 地球の未来を 考えて

暮らしや社会を 問い直すまち



「ぼい！」 「持ってかえんな！」

イラスト：稲葉衆三

## 1 章. 地球環境のために暮らし方を変えよう

私達の生活する環境や、子どもたちの未来の環境を守るために、私たち市民は、地球環境問題をみずからの問題として受けとめ、行動していかなければなりません。しかし、どんな行動を行えば良いのでしょうか。

日常の生活をふりかえってみてください。どうせ市が燃やしてくれるからとごみの分別や減量をいい加減にする、家中の電気をつけっぱなしにする、必要以上にレジ袋をもらう……、こんなことをしていませんか。実はこうした一見ささいに見える日常の市民の行動が、積もりつもって地球環境に重大な影響を及ぼすようになっているのです。

生活にとって本当に必要なものは何かを考え、無駄を無くし、生き方を変えていくことで、美しい豊中の未来をつくる行動に取り組んでいきましょう。

- 行動提案1 家族で話し合っ、わが家のごみ減量作戦に取り組もう
- 行動提案2 まだ使える道具や家具はバザーやリサイクル運動に提供しよう
- 行動提案3 カバンの中に薄手の買物袋を入れて歩こう
- 行動提案4 まちぐるみで「ごみ」「資源」の分別の推進をしよう
- 行動提案5 冷暖房は1℃がまんして設定を控えめにしよう
- 行動提案6 使い終わった電気製品は必ず主電源を切ろう
- 行動提案7 家を新築したり、改築するときは、自然を利用して夏涼しく冬温かい設計をしよう
- 行動提案8 食料を買いすぎて腐らせるのはやめよう
- 行動提案9 雨水をためて、打ち水や植木の水やりに使おう
- 行動提案10 歯を磨いている間は、水道の水を止めておこう
- 行動提案11 使い終わった食用油はぼろ布に吸い取って、燃やすごみに出そう
- 行動提案12 豊中市民版環境家計簿をつけて、地球環境問題を考よう
- 行動提案13 行案のごみは自宅へ必ず持ち帰ろう
- 行動提案14 ばら売りや量り売りの店をひいきにするグリーンコンシューマーになろう
- 行動提案15 職場や学校のエコロジー度をチェックしてみよう
- 行動提案16 食品用ラップは生ごみに混ぜないで、燃やさないごみとして分別しよう
- 行動提案17 ホルムアルデヒドなどの有害物質を発生する建材や、健康に影響を与える物質を出す化学製品の使用は慎重に行おう
- 行動提案18 便利なもの、新製品は環境や健康、廃棄後のことを考えて使おう
- 行動提案19 オゾン層を破壊するフロンを放出しないよう、冷蔵庫やエアコンを廃棄するときには、回収ルートに乗せよう
- 行動提案20 熱帯の自然を守るために、ラワン材やチーク材などの熱帯木材から作られた製品の使用を減らそう

行動  
提案  
1

家族で話し合って、わが家のごみ減量作戦に取り組もう

ごみの減量には発生を抑える（リデュース）、再利用をする（リユース）、再生資源として活用する（リサイクル）の3つのRを進めることが必要ですが、市民にとっては、買い物の際に、ごみとなるものを断る（リフューズ）姿勢も大切です。お金を出して買ってくるものがごみにならないように、家族で話し合ってみましょう。

関連行動

- ・シャンプー・洗剤、調味料など、できるだけ詰め替え用がある商品を使ってごみを減らそう
- ・リサイクルのための分別を進めるなどして、家庭のごみの量を1～2割減らそう
- ・自動販売機で食品・飲料を買わないようにしましょう
- ・使い捨ての商品は買わないようにしましょう
- ・買物でストレスの解消をしないようにしましょう

行動  
提案  
2

まだ使える道具や家具はバザーやリサイクル運動に提供しよう

「もったいない精神ですっきり暮らそう」

家庭で不要になった品物も簡単に捨ててしまうのではなく、できるだけリサイクルに出したり、必要としている所に譲ったりしましょう。

※ 参考データ

- ・豊中市立生活情報センター ぐらしかん  
電話 06-6853-5073  
不用品の「ゆずります」「ゆずってください」の受付を行っています。
- ・豊中市立病院看護部 電話 06-6843-0101  
入院患者のため、おしめ用布地、タオル、シーツなど吸湿性の良い木綿の布地を求めています。洗濯してから送りましょうね。



関連行動

- ・ごみとして捨てる前に、もう一度リサイクルを考えよう
- ・古布を適当な大きさに切って、油拭きなどに使おう
- ・古布はできるだけリサイクルに回そう

行動  
提案  
3

カバンの中に薄手の買物袋を入れて歩こう

とよなか市民環境会議では、買物袋（マイバッグ）持参運動を行っています。レジ袋はいずれ「ごみ」となります。市民一人ひとりのマイバッグ持参は身近にできる「ごみ」減量の第一歩です。東京都での調査では、1世帯が1日に消費するレジ袋は平均で1.78枚、1年間で650枚だそうです。豊中市全世界帯にあてはめると、なんと約1億枚にもなります。

大半が「ごみ」として出され、燃やせばダイオキシンの発生にもつながります。

「めんどくさい」から「もったいない」へ、レジ袋を受け取らないことで、あなたは1年間にごみの量を約3kg削減し、二酸化炭素の発生を約0.7kg抑えることになります。

仕事をもっている人でもカバンの中に薄手の買い物袋を忍ばせていれば、それほどじゃまにならずにいつでも取り出せます。

さりげなく、かっこいいお父さんやお母さんの姿が子どものこころに残ります。

#### 関連行動

- ・裸売りや簡易包装のものを買おう
- ・買い物時に簡易包装を依頼するなどして、スーパーなどの商店へ過剰包装をやめるよう働きかけよう

## 資源

### 行動

#### 提案 まちぐるみで「ごみ」「資源」の分別の推進をしよう

4

資源のリサイクルのためには、使用後の容器やビンなどを素材ごとに分けておかなければなりません。分別を行わずに混ぜてごみとして出してしまうと、その中からビンや缶やプラスチックを分けるためには大変な手間と費用がかかってしまいます。税金の無駄遣いにもなるし、いろいろなものが混ざったごみが燃えるときに発生するダイオキシンの対策にも費用がかかります。

1日1缶づつアルミ缶をリサイクルすると、あなたは1年間で、ごみの量を9kg削減し、エネルギーを47万キロカロリー、二酸化炭素発生を51kg抑えることになります。スチール缶の場合は、ごみ10kgの削減、3万2千キロカロリーの削減、二酸化炭素3.5kgの削減につながります。

リサイクル社会の実現には、ごみではなく、資源として分別に協力するあなたの力を必要としています。中味が腐って悪臭を出すのを防ぐために、缶やびんを水で洗って出す心遣いもほしいものです。

#### 関連行動

- ・家庭ごみ分別収集の持ち出し日や、分別をよく守ろう
- ・再生資源の拠点回収に協力しよう
- ・牛乳パックは捨てずに紙のリサイクルルートに回そう
- ・近くのスーパーやコンビニでも資源回収をすすめよう
- ・ごみの行方を知るために、豊中市伊丹市クリーンランドの焼却工場や大阪湾の埋立最終処分場を見学しよう





行動  
提案 5 **冷暖房は1℃がまんして設定を控えめにしよう**

夏の間（70日間）毎日1時間エアコンの使用削減を行えば、9.5kgの二酸化炭素の削減になります。また、冷房温度を1℃高くすることも、電気代の節約になり、二酸化炭素8kgが削減できます。冬の4ヶ月間、石油ファンヒーターの使用を1時間減らすと24kg、暖房温度を2℃低くすれば6.4kgの二酸化炭素の削減効果があります。

ガストーブや石油ストーブを使うときも、足元に厚めの絨毯を敷いたり、カーテンを二重にして、床まで届くようにすることで暖房の効果を高めることができます。

行動  
提案 6 **使い終わった電気製品は必ず主電源を切ろう**

夜中に家族が寝静まった台所や居間で蛍のように小さな光がともっています。時計が動いていたたり、装置を暖めておく待機電力が使われている印です。こうした待機時に消費される電気は意外に多くのエネルギーを消費しています。省エネルギーセンターでの調査では、家庭の消費電力の10%以上を占めているということでした。テレビを見たら主電源を切るなどして、待機時の電力消費量を減らしていきましょう。

**関連行動**

- ・テレビは見終わったら本体のスイッチを切ろう
- ・不要な照明をこまめに消そう
- ・掃除機を使う前に部屋を片づけて、使用時間を減らそう
- ・冷蔵庫に食品をつめ込みすぎるのはやめよう
- ・省エネのため、階段を利用して足腰をきたえよう

行動  
提案 7 **家を新築したり、改築したりするときは、自然を利用して夏涼しく、冬温かい設計をしよう**

都市の緑はアスファルトやコンクリートへの夏の日照りを和らげ、水分の蒸発によってまわりの温度を下げてくれます。焼け付いたコンクリートやアスファルトは夜になっても熱を放出しますが、植え込みや土の地面は早く温度が下がっていきます。打ち水で冷えた外気を家の中に取り入れやすい設計を行うこともできます。冬には建物の中に日光が差し込む設計をしたり、建物の断熱性能を高める設計をすることによって、暖房費用を減らして暖かい建物を作ることができます。建設費用も2%程度の増加で、あとあとのエネルギー代を節約することができます。

※ 参考資料

- ・豊中市省エネ設計指針 豊中市の公共建築物設計の指針ですが、一般の建築にあたっても参考にできる内容を含んでいます。

**関連行動**

- ・断熱材や隙間を防ぐテープなどを利用して家屋の熱効率をよくしよう

行動  
提案 8 **食料を買いすぎて腐らせるのはやめよう**

わが国の食料自給率は年々低下し続けています。平成8年には穀物自給率は29%となり、先進国の中でも飛び抜けて低く、世界163カ国のうち、111番目になってしまいました。そのため、わが国は世界の農産物貿易量の1割を輸入する世界第1位の食料輸入国となっています。

一方で、毎日3千万人分の食料が手つかずで捨てられているという事です。異常気象で世界の農業が打撃を受ければ、日本もたちまち食糧危機に陥る可能性があります。

余分な食べ物を買って、余らせて捨てるようなもったいない生活を考え直したいものです。



**関連行動**

- ・むだのない献立にし、食べ残しを減らすようにしよう
- ・季節を感じながら、旬の食材を味わって食べよう

水

行動  
提案 9 **雨水をためて、打ち水や植木の水やりに使おう**

地球は水の惑星です。しかし、地球上にある水の97%は海水で、淡水(まみず)はわずか3%しかありません。その淡水のうち69%は氷として存在し、30%は地下水です。人間が利用できるのは河川や湖沼、汲み上げることのできる地下水で、水全体のわずか0.8%にすぎません。水も大変貴重な資源なのです。しかも、水道水を作るのにも多くのエネルギーが使われます。

雨樋を切って大きなポリバケツを置いたり、雨水が地面にしみこんで行くようにした浸透ますを設置したりして、雨水の活用をすすめましょう。

**関連行動**

- ・透水性の舗装にしたり、雨水浸透ますをつくって、地下水を増やすようにしよう

水

行動  
提案 10 **歯を磨いている間は、水道の水を止めておこう**

私たちがなんの惜しげもなく使っている水道の水もたくさんのエネルギーを使ってつくられています。浄水場に取り込まれた水は、ごみを沈殿させ、濾過され、消毒されて、市内に張り巡らされた水道網を通過して家庭にやってきます。使ったあとの水もそのままだと川や海を汚すので下水処理をしてから川に流されます。

一般的な家庭の1ヶ月の使用量である20㎡の水をつくると、11.7kgの二酸化炭素を発生します。

歯を磨いている間のわずかな水の出しっぱなしでも、家族みんなでこころがければ1年間で19㎡、3100円の節約になります。

#### 関連行動

- ・ 節水のため、お風呂のお湯は洗濯や拭き掃除に使用しよう
- ・ 節水のため、トイレのタンクに水を入れたビールびんを入れよう

水

行動

提案 **使い終わった食用油はぼろ布に吸い取って、燃やすごみに出そう**

1 1

家庭から出された下水は一旦下水処理場に集められて、微生物の力で汚れを取り除いてから河川に放流されます。油は分解するのに時間がかかりますし、合成洗剤は微生物の働きを妨害するので下水処理の能力を落とします。水の処理に長い時間エネルギーを使うので、お金もかかります。油と合成洗剤は下水処理の大敵です。

てんぷらに使う油もできるだけ使い回して大事に使い、古くなって汚れた油は新聞紙を折り畳んでぼろ布を詰めた中に吸わせて燃やすごみに出しましょう。食器についた油もぼろ布で拭き取って、油を下水に流さないようにしましょう。

#### 関連行動

- ・ 水をきれいにするために合成洗剤をやめて石けんを使おう
- ・ 生ごみは下水処理の負担が大きくなるので、流しなどから流さないようにしましょう

エコロジード

行動

提案 **豊中市民版環境家計簿をつけて、地球環境問題を考えよう**

1 2

環境家計簿は家庭でのエネルギーの使用量を地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の量に換算して示すものです。とよなか市民環境会議生活部会では独自の環境家計簿を作成しました。私たち市民が、家族のみならず協力して、エネルギーの節約と家計費の節約にもなり、楽しみながら自然に環境保全に役立つライフスタイルになるように工夫しました。

この家計簿をつけることにより、家庭から出る二酸化炭素の量を調べてみましょう。家計簿には省エネルギーに役立つことや、環境にやさしい具体的な行動をたくさん盛り込んでいます。毎月継続してライフスタイルの見直しに役立ててください。

※ 環境家計簿についてのお問い合わせ先 豊中市生活環境部環境企画課 06-6858-2106

#### 関連行動

- ・ とよなかエコオフィス21活動チェックリストを使って、オフィスの環境度を調べてみよう

エコロジード

行動

提案 **行楽のごみは自宅へ必ず持ち帰ろう**

1 3

わが国ではプラスチック類が年間1500万トン製造されているということです。その内廃棄される量は300万トンとも、400万トンとも言われています。原油にして大型タンカー20隻分にも相当する量のプラスチックが燃やされたり、捨てられたりしていることになります。

行楽地で出たビニールなどを含んだごみを不完全な焼却方法で燃やすと、ダイオキシンなどの有毒物質をまき散らすことにもなりかねません。また、山や谷あいに捨てられたプラスチック類はいつまでも分解されずにごみだらけの自然にしまいます。

また、プラスチック類の添加物に使われる薬品が溶け出して、環境ホルモンのように生態系に重大な問題を起こす可能性もあります。

あなたの捨てたごみが、回り回って、あなたの子どもや孫の健康を奪うのです。行楽などのごみも自宅へ持ち帰ってきちんと処理する習慣を身にましょ。

## エコロジー度

### 行動提案 14 ばら売りや量り売りの店をひいきにするグリーンコンシューマーになろう

買い物袋を有料化して、マイバッグ持参運動を行っているコープこうべは97年度に1億350万枚のレジ袋の節約ができたと報告しています。これは石油に換算するとドラム缶5000本以上の資源の節約を行ったことになります。軽いレジ袋でも積み積み積もればとてもたくさんのエネルギーを節約できます。

商店街や地域でレジ袋やトレーを減らす運動を行うために、ばら売りや計り売りをしている店をひいきにましょ。

グリーンコンシューマーとは、毎日の買い物や消費生活で、環境に配慮した製品やリサイクルされてきた製品をすすんで購入したり、逆に環境に悪い影響を与える商品を積極的に拒否することのできる消費者です。循環型社会を支えるには、環境に配慮した製品を生産したり、販売している事業者を支える消費者の力が大切です。

#### 関連行動

- ・省エネタイプの製品で家計の節約に取り組もう
- ・環境にやさしい店（エコショップ）で買物しよう

## エコロジー度

### 行動提案 15 職場や学校のエコロジー度をチェックしてみよう

とよなか市民環境会議ではオフィスの環境度を調べる「エコオフィス21活動チェックリスト」を作成しました。また、環境家計簿には「家庭の環境度チェックリスト」も載せてあります。お父さん、お母さんばかりでなく、中高生の皆さんも、先生方と一緒に自分の学校のエコロジー度をチェックして、環境問題を考えてみましょう。

#### 関連行動

- ・環境問題を理解するために、家族全員で家事を分担しよう
- ・子どもの通う学校へ環境教育を充実するように働きかけよう
- ・身の回りで無駄な照明をしすぎているか考えてみよう

## 環境毒物

### 行動提案 16 食品用ラップは生ごみに混ぜないで、燃やさないごみとして分別しよう

燃やすごみの中に、塩化ビニリデンでできたラップや、塩ビクロス、塩ビタイプ、ピータイルなど塩

素を含んだプラスチック類が入ると、焼却炉の中で化学反応を起こして、危険なダイオキシンができやすくなります。食品用ラップは生ごみに混ざって捨てられることが多いのですが、ダイオキシンの発生量を抑えるためにも、生ごみとは分けて燃やさないごみ（不燃ごみ）として分別しましょう。

また、塩素を含まないラップを使うとか、蓋付の容器を使用するなど、塩素を含んだプラスチックの使用量を減らしていくことも重要です。

#### 関連行動

- ・ラップは塩化ビニリデン製をやめ、ポリエチレン製のものを使用しよう
- ・家庭では、塩素系の漂白剤やカビ取り剤を使うのを控えよう
- ・塩ビクロスや合成レザーなどの塩化ビニル製品を家庭から減らしていこう

#### 環境毒物

**行動提案 17** ホルムアルデヒドのような有害物質を発生する建材や、健康に影響を与える物質を出す化学製品の使用は慎重に行おう

建材には有害な化学物質が多数使われています。接着剤から発生するホルムアルデヒド、プラスチック類から発生するモノマー（プラスチックの原料）や添加物、土台や畳に注入されている農薬などから、さまざまな化学物質が発生しています。数百種類もの化学物質が検出されている報告もあります。

肌触りの良い塩ビのシートやおもちゃには、環境ホルモンの疑いがかけられているフタル酸エステルがたくさん含まれています。

化学製品の身の回りでの使用には慎重になっても良いのではないのでしょうか。

#### 環境毒物

**行動提案 18** 便利なもの、新製品は、環境や健康・廃棄後のことを考えて使おう

地球の温暖化や酸性雨の問題など、地球環境の悪化は、便利さ・快適さを求めて、化石燃料を無尽蔵に使ってきた私たちの生活のありかたに大きな原因があります。エネルギーばかりでなく、さまざまな化学物質も、便利さ、機能性の良さ、表面的な快適さを求めて使われてきました。

絶縁油やノンカーボン紙などに使われたPCBは、燃えない、劣化しない、絶縁性能も良い油として、世界全体で120万トンも作られました。カネミ油症のような人体被害の発生、地球規模での魚やいるかなどの海洋生物の汚染の判明などから現在は製造は中止されています。しかし、分解されにくく、脂肪に溶けやすいことから、ダイオキシンと同じ様な毒性をもつこの物質の環境汚染はさらに何十年も続いていくことでしょう。

便利なもの、新製品を前にしたとき、待てよ、本当に必要な？と一歩立ち止まって考えてみましょう。

#### 地球環境

**行動提案 19** オゾン層を破壊するフロンを放出しないよう、冷蔵庫やエアコンを廃棄するときには、回収ルートに乗せよう

現在使われている家庭用の冷蔵庫やエアコンのほとんどには、冷媒ガスや発泡断熱材の中にフロンガスが使われています。このフロンは太陽からの有害な紫外線を遮る成層圏のオゾン層を破壊することがわかり、特にオゾン層を破壊する力の強いフロンはすでに生産が中止されました。現在、販売されてい

るものには代替フロンが入れられています。しかし、この代替フロンも強い温室効果があるため、どちらのガスも大気中に放出してはいけないものです。

オゾン層が無くなると有害な紫外線が強くなり、皮膚ガンや農作物の被害などにつながります。

家庭の冷蔵庫やエアコンの廃棄時には、フロンガスを大気中に放出しないよう、販売店などの回収ルートに乗せましょう。

## 地球環境

行動 提案 20	<b>熱帯の自然を守るため、ラワン材やチーク材などの熱帯木材から作られた製品の 使用を減らそう</b>
----------------	---

赤道直下の熱帯から南北の回帰線にはさまれた地域の熱帯林は、1980年から1990年のあいだ、毎年1500万ヘクタールの割合で減少を続けてきました。熱帯林材はほとんど数百年の間に成長した自然林を伐採して作られていて、日本のように植林事業で更新された樹木を切り出しているではありません。植林された面積は伐採された面積の1/8程度です。

しかも、熱帯は有機物の分解の速度が大きいため、伐採などで植物を取り除くと、土壌がやせてしまい、熱帯林の再生を困難にさせてしまいます。

日本は熱帯木材の世界最大の消費国で、1986年には熱帯林輸出の50.8%が日本向けでした。これらの熱帯木材の80%が合板に加工されています。合板とはいえ、熱帯の自然を犠牲に持ち出されてきたものです。大事にくり返して使いたいものです。

### 関連行動

- ・紙タオルなどをできるだけ使わないで、ハンカチや布タオルを利用しよう

夜空見て 胸いっぱい 深呼吸

星のきらめき 感動のまち



## 2章. 自然のゆたかな豊中にしていこう

市歌に「緑の都豊中市…」とうたわれていますが、1960年代までの豊中市は阪急電車沿線を一步それると田園が開けた緑の多い住宅都市でした。しかし、万博の頃からの急激な住宅開発で緑やため池が少なくなっていました。それでも島熊山とそれに連なる千里緑地の里山景観や、服部緑地、社寺林、屋敷林などにその名残を見ることができます。

水や緑は、私たちの生活にうるおいをもたらすだけでなく、防災の上からも重要な役割をはたし、騒音を吸収する効果は大きく、多様な生き物たちのすみかであったり、夏の暑さや冬の寒さをやわらげたり、地下水をゆたかにするなど、さまざまなはたらきを担っています。また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し、酸素を供給しています。

さらには、神社やお寺などの大きなクスノキに長い歴史を感じたり、待兼山を歌った万葉人をしのんだり、ニュータウン開発で千里緑地を残した先輩たちの苦労を思うことができます。自然は私たちの生活や歴史に密接に関わっています。

今、地球規模での環境問題に直面している私たちは、(1)まず自然に親しみ学ぶこと、(2)そして自然を守り育てること、(3)さらに自然を造り広げることによって、ゆたかな緑、美しい自然を身近に、この豊中の地に取り戻すようつとめましょう。

- 行動提案21 近くの社寺林などへ、笹ずれ、葉ずれの音を聞きに行こう
- 行動提案22 豊中市で行っている『身近な環境調べ』に参加しよう
- 行動提案23 豊中の自然についての情報交流を行おう
- 行動提案24 昔から豊中にある木や草の茂った公園をつくろう
- 行動提案25 キャンプや野遊び、星空観察など、子どもたちが自然体験できる場を増やそう
- 行動提案26 市民の共有財産である街路樹、公園の樹木の維持管理や川の清掃に参加しよう
- 行動提案27 古くからの豊中の自然を残す里山、鎮守の森、樹木など身近な自然を育て守ろう
- 行動提案28 宅地を造成したり、建物を建てる時は、もとの地形や自然を活かそう
- 行動提案29 農家との交流や農業体験などの仕組みづくりをすすめよう
- 行動提案30 市民農園をつくり農地を守ろう
- 行動提案31 多くの生き物たちがすむ島熊山や待兼山の緑を大切にしよう
- 行動提案32 樹木や草花への殺虫剤の使用は控えよう
- 行動提案33 先人の苦労をしのび、安らぎとうるおいをもたらすため池を残そう
- 行動提案34 落ち葉や剪定枝は燃やさず、堆肥にしよう
- 行動提案35 雨が地面にしみ込むよう、土の面をできるだけ増やしていこう
- 行動提案36 地下水や湧き水を大切にしよう
- 行動提案37 ベランダや庭、生垣などで緑を増やし、まちの隙間を緑で埋めよう
- 行動提案38 道や広場、水辺などを結び、水と緑のネットワークを広げよう
- 行動提案39 近所の緑の達人から草木を育てる楽しさを学ぼう
- 行動提案40 公園や街角にビオトープをつくり、トンボや野鳥を呼び戻そう



行動  
提案  
21

近くの社寺林などへ、笹ずれ、葉ずれの音（ね）を聞きに行こう



開発され、都市化された中で、身近でゆたかな緑に触れ、心をなごませ、昔を偲ぶなど、くつろぎ、安らぎを味わえる場所、それが社寺林ではないでしょうか。笹ずれ、葉ずれに季節を感じ、鳥のさえずりに耳を傾ける幸せなひとときを味わうことができます。

#### 関連行動

- ・マチカネワニの化石を見に行こう
- ・モノレールに乗って、高いところから豊中のまちを良く見てみよう
- ・箕輪池に行き、いろいろな水鳥の数を数えよう（1月）
- ・宮山のミツバツツジに早い春を感じてみよう（3月）
- ・早朝の島熊山に登って、コゲラが木をつつく音を聞こう（5月）
- ・千里川の水辺でしゃがんで、水の中の生き物を覗いてみよう（8月）
- ・猪名川の堤防から、六甲の山並みに沈む夕日を眺めよう（9月）
- ・長興寺のヒガンバナに、飢饉（ききん）に備（そな）えた先人たちの知恵をしのぼう（9月）
- ・庄本の椋橋（くらはし）神社へ行って、椋（むく）の実を味わおう（10月）

行動  
提案  
22

豊中市で行っている『身近な環境調べ』に参加しよう

自然に親しむには、一人で自然の中に入って行くのもいいものですが、植物や動物の生活をいろいろな人から教わるのも楽しいものです。動物たちの生活を教われば、普段気にも止めなかった鳥たちの声も楽しい恋歌であることがわかるでしょう。

豊中市では毎年、セミ調査や野草調査などの観察会や身近な環境調べを行っています。また、公民館などで各種の講座が行われていたり、市内には多くの自然観察グループや環境保護活動を行っているグループもあります。

※ 市内で行われている自然観察会

- ・水生生物観察会、鳴く虫観察会、水鳥観察会、秋の野草観察会、セミ調査、大気調査（環境企画課）
- ・ほたるの夕べ（下水道部水路課）
- ・スターウォッチング・ネットワーク（公害課）
- ・身近な環境調べ、微気象（温度調査）、酸性雨調べ、二酸化窒素濃度の簡易測定（環境企画課）
- ・昆虫展示会（下水道部水路課）

※ 市内の自然観察グループ

- ・島熊山の雑木林を守る会
- ・服部緑地自然を楽しむ会
- ・千里川を考える会
- ・アクアユートピア実行会議
- ・豊中天文協会・豊中天文同好会
- ・豊中生物同好会
- ・ヒメボタルを守る会・羽鷹池を守る会
- ・春日町の住環境を守る会・自然と文化を守る会
- ・無農薬野菜友の会
- ・豊中市山野草同好会・野山に学ぶ会
- ・豊中市民菊の会・バラの会・さつき会

身近な自然

行動  
提案 豊中の自然についての情報交流を行おう  
23

お父さん、お母さん、あなたの少年少女時代に体験したり、感動したさまざまな自然の営みは今も繰り返されています。小さなお子さんもポケットにしまっていた、不思議発見の『どこでもレンズ』を取り出して、さあ、観察を始めましょう。

『鳥は早起き…、イタチを見たよ…、こんなところに珍しい花が…』いろいろな発見を言葉や写真、文や絵にまとめて、教育研究所や豊中市環境企画課に教えて下さい。

豊中の感動を、皆とともに、“親しみ・伝えあい・育てましょう”

関連行動

- ・自然についての珍しいことを見つけたら、教育研究所や豊中市環境企画課に知らせよう。
- ・自然についての情報を集めた自然博物館を市民の協力で作ろう。

身近な自然

行動  
提案 昔から豊中にある木や草の茂った公園をつくろう  
24

豊中には、大小さまざまな公園がありますが、みな植樹がゆきとどき、遊具があつて、きちんと整備された公園ばかりです。しかし、昔からこの土地に生きてきた植物を中心に、刈り込みをせず、自然のままの姿が見られる公園も楽しいものです。シイやムクノキの実は食べられるし、コナラやクヌギにはカブトムシやクワガタムシがやってきます。野草の茂みにはバッタやキリギリスが隠れ、コオロギやマツムシの鳴き声が聞こえてくれば、自然とふれあう喜びも一層ふくらむでしょう。

関連行動

- ・草むらのある公園や伸び伸びした木（自然樹型の木）のある公園をつくろう
- ・庭や公園に実のなる木を植えて、野鳥を呼び込もう
- ・家の回りや道路に地道の良さを取り戻そう
- ・親しめる河川や水辺をつくるために、自然を生かした親水整備をすすめよう

身近な自然

行動  
提案 キャンプや野遊び、星空観察など、子どもたちが自然体験できる場を増やそう  
25

いま、大切なことは、心の教育、いのちの大切さと言われています。それらは、子どものころから良き指導者のもとでキャンプ経験を積むと、自然に身に付いてきます。何かと便利になった家を離れて、野外で自然観察や野遊びをすれば、自然の偉大さやゆたかさに気づくようになるでしょう。

キャンプはメンバーの共同作業です。火や水、風や木、工具等の扱いを学びながら、生き物の命をいただき、感謝して残さず食べましょう。大地に寝て、太陽の光を浴び、さわやかな小鳥の声や風にそよぐ木の葉の音に耳を傾け、澄んだ空気を胸一杯に吸い込めば、魂は癒され、どの子もいきいきとしてくるでしょう。

豊中市内には、キャンプができる場所が1ヶ所（グリーンスポーツセンター）だけです。身近な所でキャンプをしたり、夜空の観察が行える場所の拡充が必要です。

※ 関連した制度

- ・大阪府・自然環境観察員（ナチュラルウォッチャー）
- ・環境庁・子どもエコクラブ

自然の保護

行動

提案  
26

市民の共有財産である街路樹、公園の樹木の維持管理や川の清掃に参加しよう

街路樹・公園や川は、私たちの四季の移り変わりを教え、自然への郷愁を育み、子どもたちに心の潤いを与え、自然と親しむ手近な場所です。

豊中市民の共有財産である街路や公園の樹木、河川は自分たちで手入れをし、大切に守りましょう。

※ 関連した制度や市内の活動事例

- ・大阪府みどりの基金（大阪府・豊中市公園緑地課）
- ・グリーンアドバイザー制度（大阪府）
- ・公園や歩道清掃に対する補助（豊中市公園緑地課・土木部維持課）
- ・千里川アクアユートピア（千里川の環境保全活動を行っている）

関連行動

- ・クリーンデーを設け、千里川、天竺川、高川を清掃しよう
- ・イチョウやスズカケなどの街路樹の落ち葉を片づけよう
- ・公園の樹木の根元には虫がすめる草むらを残そう
- ・公園や道路、河川へごみのポイ捨ては止めよう

自然の保護

行動

提案  
27

古くからの豊中の自然を残す里山、鎮守の森、樹木など身近な自然を育て守ろう

開発をまぬがれた鎮守の森や里山、民家の周りの大木は、古くからの豊中の自然をかりうじて守っています。これらを破壊することは、生態系そのものを変えてしまいます。自然の仕組みや人と自然とのつながりを教えてくれる、身近な自然を育て守りましょう。

※ 関連した制度

- ・豊中市樹木保護制度（公園緑地課）
- ・生垣緑化助成金交付制度（公園緑地課）



### 関連行動

- ・原田神社の巨木、宮山の名水などの由来を伝え、ふるさとのシンボルとして大切にしよう
- ・オニバス、サンショウモ、ササユリ、ヒメボタルなどの希少種が分かるレッドデータブックをつくろう
- ・ナショナルトラスト運動に出資したり、トラスト協会などと協力して、自然保護グループの活動を支援しよう

### 自然の保護

行動  
提案  
28

#### 宅地を造成したり、建物を建てる時は、もとの地形や自然を活かそう

何億年もかかってつくられた自然の形状は、一旦、破壊すれば元には戻りません。生き物たちが変化した自然に適応できるには何万年もかかります。

土地の形状・自然は私たちの祖先が大事にしたものであり、その恩恵を今、私たちは受けているのです。これをまた、子孫に残すことは私たちの務（つと）めです。

### 関連行動

- ・家やマンションを選ぶときは、環境へ配慮したものにしよう
- ・家やマンション、工場などを建てる時には、できるだけ既存の樹木や植物を活用し、自然樹林や水辺環境の保全や生息している動物の保護に努めよう

### 農耕地の保全

行動  
提案  
29

#### 農家との交流や農業体験などの仕組みづくりをすすめよう

市街化された豊中にも農家の様々な努力で農業が営まれています。農地は作物の生産、災害の防止、ヒートアイランド現象<sup>◆</sup>の緩和のみならず、地域の祭事を含め、わたしたち市民の心のよりどころです。豊中の農業の現状を知り、交流し、大切に継承しよう。

- ◆ ヒートアイランド現象：都市部で日中の熱が夜まで蓄えられ、気温が周辺より高くなる現象。コンクリートの増加が原因の一つと考えられている。

### 関連行動

- ・農業体験などにより、農家との交流を行いましょ
- ・市民農園を増やし、大人も子どもも農業体験ができるようにしよう

### 農耕地の保全

行動  
提案  
30

#### 市民農園をつくり農地を守ろう

身近で穫れた野菜や果物の味は格別です。小さな苗を育てる作業で、太陽や土、水など自然のもつエネルギーに触れることができます。身近な市民農園は家族そろって作物づくりが楽しめます。作物を育て、たくさんの生物が生息する土壌は地球の宝物。大事に利用しましょう。

※ 関連した制度

- ・市民農園制度（産業経済課）

### 関連行動

- ・農業体験を通じて、農地を守ろう
- ・豊中市内で取れる農産物の販売ルートをつくり、旬の物を食べ季節を体で感じよう
- ・使われなくなった農地や工場の跡地は市民農園やピオトープとして活用しよう

生態系の保全

行動

提案  
3 1

### 多くの生き物たちがすむ島熊山や待兼山の緑を大切にしよう

「玉かつま 島熊山の 夕暮れに ひとりか君が 山道越ゆらむ」と万葉集に歌われた島熊山は標高135メートルの豊中で一番高い山です。待兼山、猪名川とともに万葉人を偲ぶ大切な土地で、身近な里山としても親しまれてきました。

さまざまな木々で成り立つ山の雑木林は、野鳥や昆虫の宝庫でもあり、タヌキやキツネも生息しています。昔ながらの生き物たちが生きつないできた、このゆたかな生態系をもつ待兼山や島熊山を豊中の財産として大切に守っていきましょう。

### 関連行動

- ・直径30cm以上の木は切らないようにしよう
- ・生態的価値の高い社寺林や屋敷林はむやみに切らないようにしよう
- ・不要な木は欲しい人に譲り、活用しよう
- ・外国産のペットや動植物を自然に放さないようにしよう

生態系の保全

行動

提案  
3 2

### 樹木や草花への殺虫剤の使用は控えよう

庭木や草花についた虫を見たとき、すぐ使う殺虫剤は、花粉を運ぶハチやチョウ、他の虫を食べるテントウムシやクモなどを無差別に殺します。そればかりでなく、私たちの健康までおびかやかしています。

割り箸やピンセットで捕まえる、虫のついた枝葉をそのまま切り取って処分するなど、殺虫剤を使わない方法を工夫しましょう。

### 関連行動

- ・農薬をあまり使わずに必要最小限に控えましょう
- ・虫たちの小さな生態系（共存や天敵）を壊さないようにしよう
- ・巣立ちピナは落ちていてもそっとしておこう
- ・ツバメやコウモリ、ヤモリを大切にしよう

生態系の保全

行動

提案  
3 3

### 先人の苦勞をしのび、安らぎとうるおいをもたらす、ため池を残そう

豊中にはかつてたくさんため池がありましたが、都市化の波にのまれ、多くが埋め立てられてしまいました。そのためにメダカやタナゴ、ドジョウなど魚類や、オニヤンマ、タガメなどの昆虫も目にすることができなくなりました。遊水池として洪水を防ぎ、池周辺の動植物を潤し、ゆたかな生物相を育む

ため池の役割を見直し、大切に守り育てましょう。

#### 関連行動

- ・ブルーギルやブラックバス、ミドリガメなど外来種を放流しないようにしよう
- ・ため池にごみを捨てないようにしよう

自然循環

#### 行動 提案 3 4 落ち葉や剪定枝は燃やさずに堆肥にしよう

現在、たくさんの樹木の剪定枝がクリーンランドに運ばれ、焼却処分されています。焼却すると、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素が発生します。また、樹木は地面から水や栄養分を吸い上げ成長し、樹木の根本に落ちた枯れ枝や落ち葉は樹木の栄養分となります。このように自然はいたるところで循環が行われています。私たちは、この仕組みを学び、自然が循環できるよう工夫しましょう。

#### 関連行動

- ・公園や学校、街路樹の樹木の剪定した枝葉や落ち葉は腐葉土にしよう
- ・落ち葉は自然の貯金箱。木の根元に残しておこう
- ・樹木の剪定した枝葉をチップ化し、カブトムシやクワガタなどの昆虫の飼育に利用しよう

自然循環

#### 行動 提案 3 5 雨が地面にしみ込むよう、土の面をできるだけ増やしていこう

地表面をアスファルトやコンクリートで固めてしまうと、雨水が地中にしみ込まず、ほとんどが水路に入るため、大雨になるとしばしば洪水になります。地面は土のままか、植物で覆うようにすると、水はゆっくりと土中に入って、地下水となります。

また、雨どいを通ってくる雨水は貯え、植木や道路の散水などのほか、災害時にも活用しましょう。

#### 関連行動

- ・土や水辺のある公園や広場をつくろう
- ・通路や駐車スペースは透水性舗装や緑化ブロックを使おう
- ・コンクリート壁面はできるだけ避け、石組みを使おう
- ・まちかどに雨水タンクを設置して、地域の人たちが打ち水や庭木への散水に利用できるようにしよう

自然循環

#### 行動 提案 3 6 地下水や湧き水を大切にしよう

近ごろ、井戸水を汲み上げているのを見かけることはなくなりましたが、かつて、豊中の銀座通りにあったポンプ付きの井戸は、使い親しまれていました。井戸水は使い続けると、きれいな良い水が湧いてきます。

桜井谷の春日神社には、薬師水（薬師の井戸）と呼ばれる湧き水があって、大切にされています。

### 関連行動

- ・井戸を見直し、井戸水を風呂水や植木の散水、防火用水などに活用しよう
- ・地下水や湧き水は汚さず、流れを切らないようにしよう

緑化推進

行動  
提案  
37

### ベランダや庭、生垣などで緑を増やし、まちの隙間を緑で埋めよう

身のまわりを花や緑で包もうとするのは、洋の東西を問わず、古くから盛んに行われています。そして、植物の緑は四季折々に私たちの目をなごませてくれます。人口増加によって生活空間が狭くなってきましたが、庭だけでなく屋上や壁面などにも緑で覆うことができるよう、工夫したいものです。

### 関連行動

- ・庭やベランダ、屋上などを利用して緑を増やそう
- ・庭に木を植えるときは、地域にふさわしい樹木を選ぼう
- ・まちの花屋さんに緑の指導員になってもらおう
- ・地主さんに協力してもらって、市民農園を増やそう

緑化推進

行動  
提案  
38

### 道や広場、水辺などを結び、水と緑のネットワークを広げよう

人間は社会の複雑化に合わせて、電波を駆使して国内外を問わず、必要な情報を交換しています。でも、他の生き物たちにはそれは無理なこと。視覚や嗅覚に頼りながら木から木へ、花から花へと旅をします。手植えの一本の草や木が、私の庭へ思いがけない虫や鳥を誘導してくれます。

### 関連行動

- ・原っぱや雑木林のある広場や公園、緑地をみんなで作ろう
- ・近所の人と話し合っ、並木づくりをしてみよう
- ・井戸水を汲み上げ、水路に流して、水のネットワークをつくろう
- ・ムクやエノキ、サトザクラなどの在来種を、一人一本ずつ植えよう
- ・公園愛護活動（公園の清掃など）へ参加しよう

緑化推進

行動  
提案  
39

### 近所の緑の達人から草木を育てる楽しさを学ぼう

自然環境の保護や保全は日常語になっています。しかし、自然の仕組み、生態系は複雑で、それを知れば知るほどその大切さが分かり、面白くなります。そしてまた、自然を媒介にしての隣人とのつながりは、さっぱりとした楽しい関係になります。身近な虫や草花を見ながら感動を分かち合いましょう。



### 関連行動

- ・ 緑について話し合い、意見交換する場をつくろう
- ・ 服部緑地の花と緑の相談所などで、緑の知識を深め、みんなに伝えよう
- ・ 他の地域や外国で活動している緑化情報をお互いに提供しよう

### 多様な自然環境

行動  
提案  
40

### 公園や街角にビオトープをつくり、トンボや野鳥を呼び戻そう

ゆたかさと便利さを求め続けた結果の環境問題は、人間中心の生活で、他のいろいろな生き物と共に暮らすことの大切さを見落としていた結果であったように思われます。身の回りを見つめ、わずかでもゆとりがあれば、多様な生物と共存できるよう、水辺や草むら、木々の茂みをつくりましょう。

### 関連行動

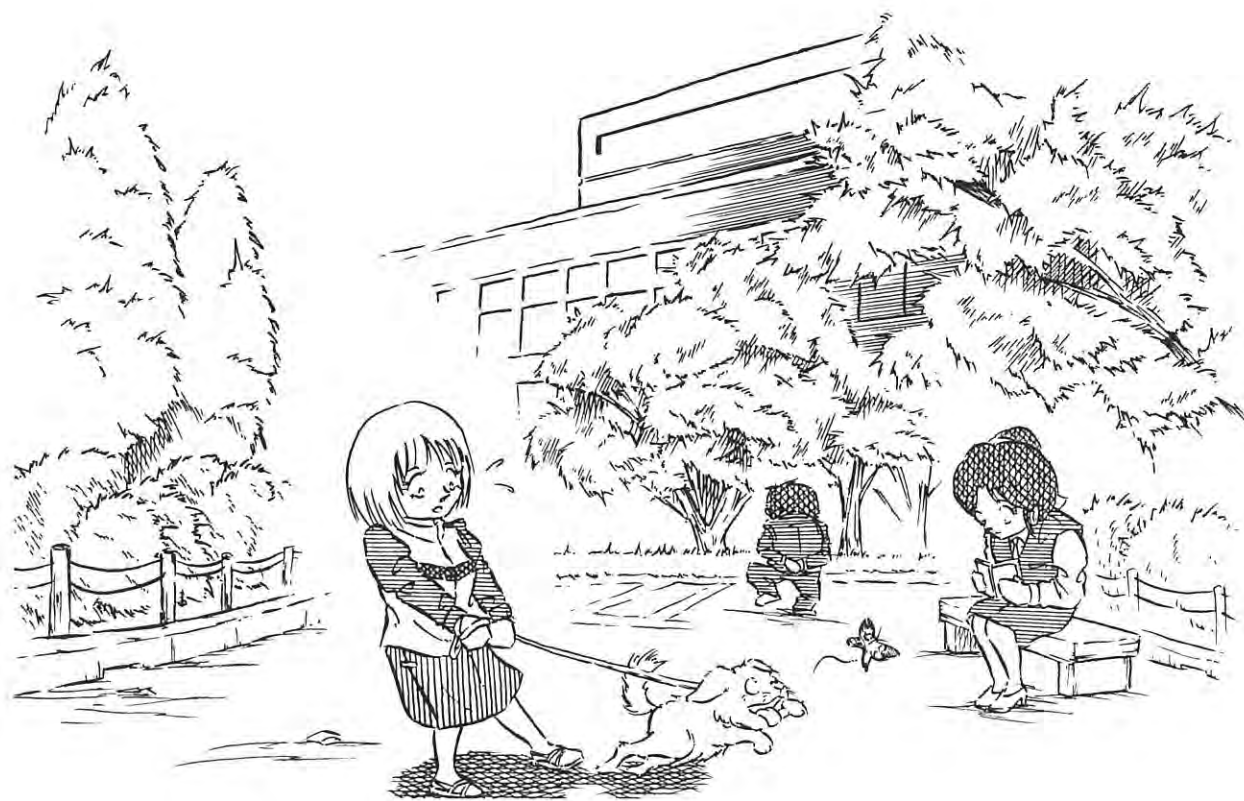
- ・ ホタルやトンボが住めるよう、水辺の環境を大切にしよう
- ・ 庭やベランダ、屋上に野鳥の水飲み場やえさ場をつくろう
- ・ 実のなる木や植物を植えましょう
- ・ サンクチュアリ（特別な保護地域）をつくろう





事業所を 花と緑で さわやかに

ひとと地球に やさしい企業



### 3章. 環境問題に配慮した事業活動をすすめよう

事業者は地域社会の一員として、子どもたちの未来の環境を守る責任があります。ISO14000シリーズの急速な普及は、環境問題を受け身でなく、積極的にみずからの事業活動の柱として受けとめる企業が増えていることを示しています。また、地域においても、事業所は地域の市民の一員として、快適な環境を作り上げたり、コミュニティ活動に積極的に関わっていくことが必要になってくることでしょう。

一方で、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の削減や、資源の使用量の削減を前提にした、環境に配慮した事業活動が国際的にも国内的にも求められています。環境問題を経営マネジメントの一環とした事業活動を進めるとともに、エコビジネスの機会を広げていきましょう。

- 行動提案41 事業所に、コピー用紙、FAX用普通紙、印刷用紙などの裏面を利用するシステムをつくろう
- 行動提案42 節水コマ、節水型フラッシュバルブ、流水音発生器などを使用して、水の使用量を削減しよう
- 行動提案43 事業所の生産工程や製品を見直して、原材料の使用量削減を計画しよう
- 行動提案44 とよなかエコオフィス21活動チェックリストをつけて、オフィスの環境度を調べてみよう
- 行動提案45 事業所にリサイクルを目的としたごみの分別システムをつくろう
- 行動提案46 産業廃棄物として捨てていたものを、資源として循環利用するシステムづくりを検討していこう
- 行動提案47 事業所の冷暖房は冷房28℃以上、暖房20℃以下を目安に設定し、電力削減を実施しよう
- 行動提案48 事業所の電気・ガス・石油類のエネルギー使用量を把握し、削減計画をつくろう
- 行動提案49 事業所で物品を購入する場合は、グリーン購入を積極的にすすめよう
- 行動提案50 省エネ型でリサイクルルートがつけられている製品を優先的に購入しよう
- 行動提案51 製品の使用後の再生資源化を考慮して、原材料や部材の検討を行おう
- 行動提案52 自社の生産活動を見直して、原材料の選択、加工工程の改善、工程廃棄物の削減に努力しよう
- 行動提案53 工場や事業所を緑化して、気持ちのよい通りをつくるよう努めよう
- 行動提案54 事業用車輛の待機、駐車時のエンジンストップを運転マナーにしよう
- 行動提案55 事業所へのマイカー通勤の自粛をすすめよう
- 行動提案56 規制をクリアーするだけでなく、環境に配慮した事業活動をすすめよう
- 行動提案57 自社の環境への取り組み情報を市民に公開しよう
- 行動提案58 フロン、ハロンなどのオゾン層破壊物質を使用した機器の廃棄時には、回収ルートに乗せよう
- 行動提案59 事業所の環境負荷を二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量に換算して求めてみよう
- 行動提案60 事業所の中を見回して、無駄にエネルギーが捨てられていないかがしてみよう
- 行動提案61 従業員に環境情報を知らせ、環境教育を行おう
- 行動提案62 リサイクル品など環境にやさしい商品情報を従業員に提供し、協力を得よう
- 行動提案63 事業所は、資源の地域回収システムづくりに協力・参加しよう

行動  
提案  
41

## 事業所に、コピー用紙、FAX用普通紙、印刷用紙などの裏面を利用するシステムをつくろう

豊中市伊丹市クリーンランドに持ち込まれる紙ごみは、昭和49年(1974)ごろはごみに占める割合が3割ぐらいだったものが、平成8年(1996)には5割近くまで増えています。なかでも、事業系の紙ごみの増加がめだっています。古紙1トンは高さ8m、直径14cmの立木20本に相当します。裏紙利用、リサイクルなどいろいろな方法を工夫して、天然パルプから作られる紙の使用量を減らしましょう。コピー機の横に用紙サイズ別の裏紙整理棚を備えて、コピー機のトレーの一つを裏紙専用にするなどして、裏紙を利用しやすいようにしてみましょう。



### 関連行動

- ・紙の使用量を減らすために掲示や回覧で済むものはコピー配布をやめよう
- ・会議では事前に出席数を把握して資料を配布したり、OHP等の映像機器を活用して、コピー紙の使用量を減らそう
- ・会社では共通資料を一括して保管、閲覧できるシステムにしよう
- ・社内用の会議等で使う書類や資料等は、少しのプリントアウトのミス、コピーミス、誤字・脱字などは訂正印や修正液で修正して提出できるようにしよう
- ・紙コップ、ペーパータオルなどの使い捨て紙製品の利用を控えよう

動提  
案4  
2

## 節水コマ、節水型フラッシュバルブ、流水音発生器などを使用して、水の使用量を削減しよう

水道の蛇口に入れる節水コマを使うと、蛇口をひねったときに水の勢いを抑えるので、通常の使用量の半分にすることができます。人を検知したり、アンモニアを検知して作動するセンサー付き便器なども開発され、節水に役立つこともできます。トイレの使用音を隠すため水を流さないよう、流水音の発生する装置も市販されています。しかし、トイレの使用音など気にならないようにして、余分な装置をつけなくても無駄な水を流さないようにすることができればいいですね。

### 関連行動

- ・雨水を貯留して、工場内の散水やトイレ水に利用しよう
- ・洗車や散水には手元で水の止められるノズルを使って節水しよう

行動  
提案  
43

### 事業所の生産工程や製品を見直して、原材料の使用量削減を計画しよう

原材料の削減は廃材を発生する工程のプロセスの見直しや生産ラインを見直すことから始まって、製品に使われる原材料の品質、使用形態など多岐にわたる検討を加えることが必要です。プラスチック部品を金属の部品に取り替えることで耐久性とリサイクル用途に耐える製品を作り出すことができます。環境負荷に対する経済的負担を求める動きもこれからは加速されていくものと思われます。

※ 参考資料

・「工程廃材のリサイクル」 財団法人大阪中小企業情報センター

行動  
提案  
44

### とよなかエコオフィス21活動チェックリストをつけて、オフィスの環境度を調べてみよう

とよなか市民環境会議産業部会では、民生用のエネルギー使用量増加の一因となっているオフィス活動の環境対応度を調べるチェックリストをつくりました。各項目にチェックを入れて採点し、さらに、各事業所で独自の環境対応行動を行っていただければ得点に加算して、合計100点となります。自分の事業所の環境対応度の目安にすることができ、改善行動に役立てることができます。事業所用と個人用とがありますので、使ってみたい方は豊中市生活環境部環境企画課（Tel 06-6858-2106）までお知らせください。

行動  
提案  
45

### 事業所にリサイクルを目的としたごみの分別システムをつくろう

資源のリサイクルはごみを出すときにきちんと分別することから始まります。事業活動から出るごみも、再資源化を目的としてきちんと分別することが求められています。プレス抜き金属、梱包材のプラスチック、木くず、廃油などの産業廃棄物も、種類別に分別すれば資源として再生するのが容易になります。

豊中市の調査では、事業系の一般ごみの分別状況もあまり良い結果ではありません。市内の企業の中には事業系一般ごみの種類を22種に分けてリサイクルを促進しているところもあります。豊中市の再生資源の集団回収の分類を参考に、各事業所でリサイクル可能なごみの分別システムをつくりましょう。

豊中市内の病院では、古くなった診療記録などの機密書類を焼却していました。しかし、ダイオキシン問題などでそれぞれの病院では簡単に焼却できなくなったことや、資源の節約を考えて、再生紙として活用させる検討をすすめてきました。その結果、市内の病院から出た不要になった機密書類を1ヶ所に集めて、そのまま古紙再生工場に運び込み、直接古紙の溶解槽に投入して再生させることができるようになりました。第一回の機密書類の収集では約5,800kgの機密書類を再資源化させることができました。

※ 参考資料

・「工程廃材のリサイクル」 財団法人大阪中小企業情報センター

#### 関連行動

・事務所に古紙の分別回収容器（1.古新聞、2.折り込みチラシ・コピー用紙、3.雑誌類、

#### 4.ダンボールの4種)を設置しよう

- ・シュレッダー処理した紙も梱包資材化など、再利用を考えよう
- ・廃棄梱包資材もリサイクルなど有効利用を図ろう

### 廃棄物

行動  
提案  
46 **産業廃棄物として捨てていたものを、資源として循環利用するシステムづくりを  
検討していこう**

国連大学のグンター・パウリ氏は、自然界の生き物たちは不要物として出したものを食物として使い回す循環システムを作っていることに見習い、ゼロエミッション（ごみゼロ）という考え方を産業界に持ち込みました。一つの工場から出される不要物を別の工場の原料として使ったり、複合的な業種間でのネットワークによって、全体ではごみを出さないですむゼロエミッションシステムができるのではないのでしょうか。

とよなか市民環境会議自然部会ではこれまで燃やされていた学校の剪定枝を、事業所の協力で小さなチップにしてふたたび学校の校庭にもどして堆肥にする活動を行ってきました。市内10校でモデル的に行いましたが、ごみとして燃やしていたものを、生徒たちの力も借りながら資源として循環させるものでした。こういった活動を今後も広げていく必要があります。

#### 関連行動

- ・生ゴミ発生量の多いところは、堆肥化等による再利用をめざそう

### 省エネルギー

行動  
提案  
47 **事業所の冷暖房は冷房28℃以上、暖房20℃以下を目安に設定し、電力削減を  
実施しよう**

全国で使用されているエアコンの暖房設定温度を1度下げると、ひと冬で84万キロリットル、冷房温度を1度上げると、ひと夏で38万キロリットルの原油の節約になります。これは二酸化炭素（炭素換算）にして88万トンに相当します。わが国の二酸化炭素排出量は全体で3億4300万トン（炭素換算96年）と推定されていますから、冷暖房の温度設定で0.25%の削減につながります。

#### ※ 参考資料

- ・「ビルの省エネルギー」（財）省エネルギーセンター
- ・「省エネルギー設計指針」 豊中市

#### 関連行動

- ・オフィスや事業所の新築には、断熱材の使用、雨水の活用、太陽光の活用を計画しよう

### 省エネルギー

行動  
提案  
48 **事業所の電気・ガス・石油類のエネルギー使用量を把握し、削減計画をつくろう**

1997年の地球温暖化防止京都会議において、わが国は二酸化炭素の排出量を6%削減（1990年比較）することを約束しました。石油危機の時とは異なった継続的な削減を行うために、産業界にも改めて省エネルギー行動が求められています。議定書の採択を受けて、省エネルギー法の改正も行われました。これまでの第1種エネルギー管理指定工場に加えて、第2種エネルギー管理指定工場が創設されました。工場のエネルギーばかりでなく、機械器具についても省エネ基準として、現在商品化されている製品の

うち、もっとも性能が優れている製品を上回る水準に目標値を定める「トップランナー◆」方式が採用されています。

生産工程や生産計画を見直して、熱エネルギーの効率的利用や輸送の合理化によって、電気・ガス・石油類のエネルギー使用量の削減と経費削減の方法を検討してみましょう。

- ◆ トップランナー：現在商品化されている製品のうち、省エネ性能がもっとも優れている製品の性能以上の水準に目標を定めて製品開発を進めること。

※ 参考資料

- ・「省エネの事例集（食品製造業におけるヒートポンプ、同事例調査報告書、金属製品・機械器具等製造業編）」
- ・「みんなで進める工場の省エネルギー」（財）大阪中小企業情報センター

### 関連行動

- ・事業活動の環境負荷を二酸化炭素排出量に換算して求めてみよう
- ・工程の熱プロセスを見直して、化石燃料の使用量削減を検討しよう。

## グリーン購入

行動  
提案  
49

### 事業所で物品を購入する場合は、グリーン購入を積極的にすすめよう

日本国内の紙の生産量は約 3000 万トンで、国民一人あたりの使用量は 245kg になります。紙製品のエコマークは、原料、製造、リサイクル、廃棄等の面で環境に配慮していると認定されたものに付けられています。購入者が必要性を十分に考え、グリーン購入◆、すなわち環境に与える負荷ができるだけ少ない商品の購入をすすめましょう。こうしたグリーン購入を積極的に進めるために、全国グリーン購入ネットワークなどの情報ネットワークがあります。

- ◆ グリーン購入：商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷が小さいものを優先的に購入すること。

※ グリーン購入ネットワーク事務局

電話 03-3406-5010/FAX03-3406-5190 (<http://www.wnn.or.jp/wnn-eco/gpn/>)

※ 参考資料

- ・「商品選択のための環境データブック」 グリーン購入ネットワーク  
(OA・印刷用紙編、コピー機・レーザープリンター・レーザーファクシミリ・およびその複合機編、衛生用紙編、パソコン編、冷蔵庫編が発行されています。)

### 関連行動

- ・ペットボトルの再生材料などを使った事務服、作業着などを使用しよう
- ・使い捨て商品の購入や使用を抑制しよう
- ・使用後の処理処分などで有害物の発生しにくい素材のものを選ぼう
- ・古紙100%のトイレットペーパーを選ぼう
- ・オフィスでは古紙混入率の高いOA用紙を使用しよう

## グリーン購入

行動  
提案  
50

### 省エネ型でリサイクルルートがつくられている製品を優先的に購入しよう

新しい事務機器類は、省エネやリサイクルを配慮して設計されたものが整ってきています。必要なときだけスイッチが入り、待機電力を減らす工夫や、両面コピーが容易に行える工夫もされています。事務用のパソコンなどについても電力消費量のわかるデータが公表されています。事務機器の更新にあたっては、省エネ・省資源型の事務機器への転換計画をたてましょう。また、すでに導入されている場合には省エネ設定を忘れずに行いましょう。

グリーン購入ネットワーク（前掲）ではパソコンなどのOA機器についても、環境対応度リストを公表しています。また、（財）省エネルギーセンターでも家電製品の省エネ性能の比較リストを発行しています。

- ※ 参考資料  
・「あなたの家電製品再点検 省エネ性能」 （財）省エネルギーセンター

#### 関連行動

- ・省電力型のパソコンやコピー機を導入しよう

#### ものづくり

行動  
提案  
5 1

### 製品の使用後の再生資源化を考慮して、原材料や部材の検討を行おう

製品の廃棄時に、資源として再生されることを前提とした“逆工場◆”の考えが提案されています。製品の寿命が終わったときに、再資源化が容易な材料や加工、組立工程を検討することが、資源循環社会を支えます。自社の製品が使い終わったときに、資源として分離される事を考慮して、素材選びや部材の組立の方法を見直してみましよう。

- ◆ 逆工場：製品として出回った後の廃棄物を原料として工場に戻して再資源化することで、地球環境負荷を削減させる可能性を研究する。93年に吉川弘之東京大学総長が提唱した。

#### 関連行動

- ・自社の製品を分解し、原材料、素材ごとにうまく分別できるか研究してみよう
- ・原材料や部材に使用しているプラスチック製品に素材の表示マークをつけよう
- ・自社の商品・製品に環境情報を表示しよう

#### ものづくり

行動  
提案  
5 2

### 自社の生産活動を見直して、原材料の選択、加工工程の改善、工程廃棄物の削減に努力しよう

製品のライフサイクル、すなわち、原料、製造、輸送、使用、廃棄の過程全体で環境への負荷を考えるライフサイクルアセスメントが産業界に求められています。天然資源を浪費していないか、環境汚染物質を周りに出していないか、輸送のエネルギーを使いすぎているか、二酸化炭素を出し過ぎていないか、工程から発生する廃棄物の安全管理は行われているか、作業者の安全性は確保されているかなど、環境マネジメントの考えを取り入れて自社の生産活動を見直してみましよう。

#### 関連行動

- ・製品のライフサイクル全体を考えた製品設計を行おう
- ・環境負荷のより少ない素材を用いた製品作りを計画しよう
- ・材質と添加剤に注意してプラスチックを使おう
- ・環境への負荷の少ない生産工程を工夫しよう

#### 事業所内緑化

行動  
提案  
5 3

### 工場や事業所を緑化して、気持ちのよい通りをつくるように努めよう

事業所内の花や緑は作業する人の気持ちを和らげ、疲労感を少なくして作業効率を良くすると言われ

ています。そればかりでなく、屋上緑化や壁面の緑化を行うと、夏の直射や冬の寒気を和らげて、冷暖房効率を良くします。コンクリートやブロック塀でも足元にプランターを置いて、ツタやカズラをはわせることによって事業所まわりの緑化をすすめ、まちの人にも気持ちのいい通りを作ることができます。

#### 関連行動

- ・透水性舗装など地下水の涵養を計画しよう

通勤・配送

行動  
提案  
54

#### 事業用車両の待機、駐車時のエンジンストップを運転マナーにしよう

不必要なアイドリング、急発進、タイヤ圧の調整不良などは燃料の消費量を増やし燃費を悪くします。乗用車で10分間アイドリングを行うと、ガソリン140ccの浪費になります。車を休憩室代わりに冷暖房を入れたままアイドリングを行うと、さらに、120ccあまりのガソリンを消費します。燃費向上からも、周りの人への配慮から、地球環境への影響からも、ストップ・アイドリングを運転マナーにしましょう。

※ 助成制度

- ・大阪府中小企業低公害車購入資金特別融資制度
- ・LPG自動車転換補助制度（日本LPGガス協会）

#### 関連行動

- ・タイヤ圧の調整等の定期的な整備を励行して、燃料の浪費を抑えよう
- ・電気自動車や天然ガス自動車など環境負荷の少ない車（低公害車）の導入や転換計画をすすめよう
- ・不要な荷物は降ろしてから発進しよう
- ・共同運送など環境負荷の少ない運送方法について地域で考えていこう

通勤・配送

行動  
提案  
55

#### 事業所へのマイカー通勤の自粛をすすめよう

一人乗りのマイカー通勤は、電車利用通勤の6倍、バス利用の通勤の4倍の二酸化炭素を排出します。マイカーの氾濫で業務用車両の渋滞も発生しています。従業員には公共交通機関を利用した通勤や、近くの従業員同士で相乗りして通勤することを奨めて、マイカーの利用を抑制しましょう。

#### 関連行動

- ・公共機関、徒歩、自転車の利用を促進するよう従業員に働きかけよう
- ・相乗りの奨励などにより、自動車利用の効率化を図ろう
- ・近いところへは自動車に乗らないで、徒歩か自転車を利用しよう

地域環境

行動  
提案  
56

#### 規制をクリアーするだけでなく、環境に配慮した事業活動をすすめよう

国際環境規格ISO14000シリーズは、事業活動を環境面から経営システム的に管理することをねらいとしています。つまり環境問題への対応を企業経営の中心課題としてとらえ、地球環境保全をも考慮した方針、目的、目標を定め、環境管理行動計画を立案し、実施組織・体制を整備して、運用・管理を



もとめるものです。

※ 参考資料

- ・「ISO14000シリーズへの取組み（基礎編、入門編）」（財）中小企業情報センター
- ・「中堅・中小企業経営者のための環境マネジメントシステムISO14001入門の入門」（財）地球環境センター

**関連行動**

- ・エコオフィス活動からISO14001環境マネジメントシステムにトライしよう
- ・事業所のエネルギー使用量を月毎にグラフ化し、削減努力をしよう

地域環境

行動  
提案  
57

**自社の環境への取組み情報を市民に公開しよう**

これからの企業の信頼性は品質管理、安全・衛生・環境管理の3本の柱の上に成り立つといわれます。自社の環境への取組みを市民に公開することで、市民も企業も共に環境問題に取り組んでいる連帯感が生まれます。また、市民と企業と立場の違う見方から新しい知恵が生まれてきます。とよなか市民環境会議の交流の中から、剪定枝のコンポスト化の試みも始まっています。年に1回の会社の公開日を設けるとか、自社の環境への取組み等のショーウィンドウをつくるなど、市民との交流を企画しよう。

**関連行動**

- ・会社のパンフレットを配布しよう
- ・環境方針、環境報告書を作成し、公表しよう
- ・地域の中学生等の社会見学の場としよう

地球環境

行動  
提案  
58

**フロン、ハロンなどのオゾン層破壊物質を使用した機器の廃棄時には、回収ルートに乗せよう**

冷暖房機の圧縮ガスとして使われているフロンは、大気中に放出されると、成層圏まで上昇して、太陽からの紫外線によって分解し、飛び出した塩素がオゾン層を破壊してしまいます。オゾン層は太陽からの有害な紫外線をさえぎって、地上の生物に害を与えるのを防いでいます。オゾン層の減少によって皮膚がんの増加などが心配されています。特に破壊力の強い特定フロンは既に生産が中止されていますが、現在使われている多くの冷蔵庫、エアコンなどにはまだたくさんの特定フロンが残っています。また、いま生産されている代替フロンについても強い温室効果が懸念されています。こうしたガスを使用している機器類の廃棄時には大気中に放出しないよう、回収ルートに乗せる努力をしましょう。

**関連行動**

- ・空調設備の新設・更新にあたっては、原則としてフロンを使用しないものを導入しよう

地球環境

行動  
提案  
59

**事業所の環境負荷を二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量に換算して求めてみよう**

近年、家庭や事業所などの民生分野や運輸分野での二酸化炭素の排出量が著しく増え続けています。オフィスの省エネルギーをすすめて行くために、事業所の二酸化炭素排出量を調べてみましょう。電気、ガス、水道、廃棄物、自動車用燃料などの使用量から二酸化炭素排出量を求めることができます。

※ 参考資料 環境家計簿で使っている二酸化炭素排出係数 kg (炭素換算)

項目	消費量	CO <sub>2</sub> 排出係数
電気	1 kwh	0.12
都市ガス	1 m <sup>3</sup>	0.64
灯油	1 ㍓	0.69
ガソリン	1 ㍓	0.64
水道	1 m <sup>3</sup>	0.16
燃やすごみ	1 kg	0.24

**関連行動**

- ・地球環境問題について関心をもとう
- ・熱帯木材の使用量を削減しよう
- ・オフィスのエコロジー度をチェックしよう

事業所内研修

行動  
提案  
60

**事業所の中を見回して、無駄にエネルギーが捨てられていないかがしてみよう**

事業所のエネルギーの無駄遣いを無くすためには、従業員の協力が必要です。ごみ、照明機器、空調機器、生産設備、冷蔵ショーケースなどの展示機器、建物の断熱性能など、使用方法や簡単な備品整備によりエネルギー消費量を減らすことができませんか。

QC運動のように、事業所の省エネチェック運動によって、エネルギーの削減と経費の削減を計っていきましょう。

**関連行動**

- ・トイレでは温風乾燥機などは使わずに、自分のハンカチを使おう
- ・エアコンの設定温度は夏28℃、冬20℃をキープしよう
- ・エネルギーの節約のため、社内エレベーターの使用方法を検討してみよう

事業所内研修

行動  
提案  
61

**従業員に環境情報を知らせ、環境教育を行おう**

環境問題に対する関心は環境情報を知ることから始まります。企業の環境対応の行動も従業員の自発的な参加が必要です。豊中市の環境企画課に相談すれば、環境問題の講師を派遣してもらえます。地球環境問題、ごみ問題、ダイオキシン問題、どんどん環境教育の機会をつくりましょう。

なかでも、豊中市伊丹市クリーンランドや原田下水処理場の見学は、新人研修コースに加えましょう。



**関連行動**

- ・ゴミの焼却工場（豊中市伊丹市クリーンランド）や埋立最終処分場を見学しよう

行動  
提案  
62

**リサイクル品など環境に負荷の少ない商品情報を従業員に提供し、協力を得よう**

通産省、環境庁、大阪府、豊中市などの行政機関は市民に提供できるさまざまな環境情報を用意しています。これらのポスターやチラシを従業員の目に付くところに張り出すなどして、従業員に環境問題への取り組みを促しましょう。また、グリーン購入ネットワークだけでなく、文具業者、量販店なども環境に配慮した商品（グリーン商品）の紹介パンフレットを出しています。従業員の利用を促すために回覧しましょう。

**関連行動**

- ・環境に関するポスターやチラシなどを掲示し、従業員の環境保全行動を促そう

企業参加

行動  
提案  
63

**事業所は、資源の地域回収システムづくりに協力・参加しよう**

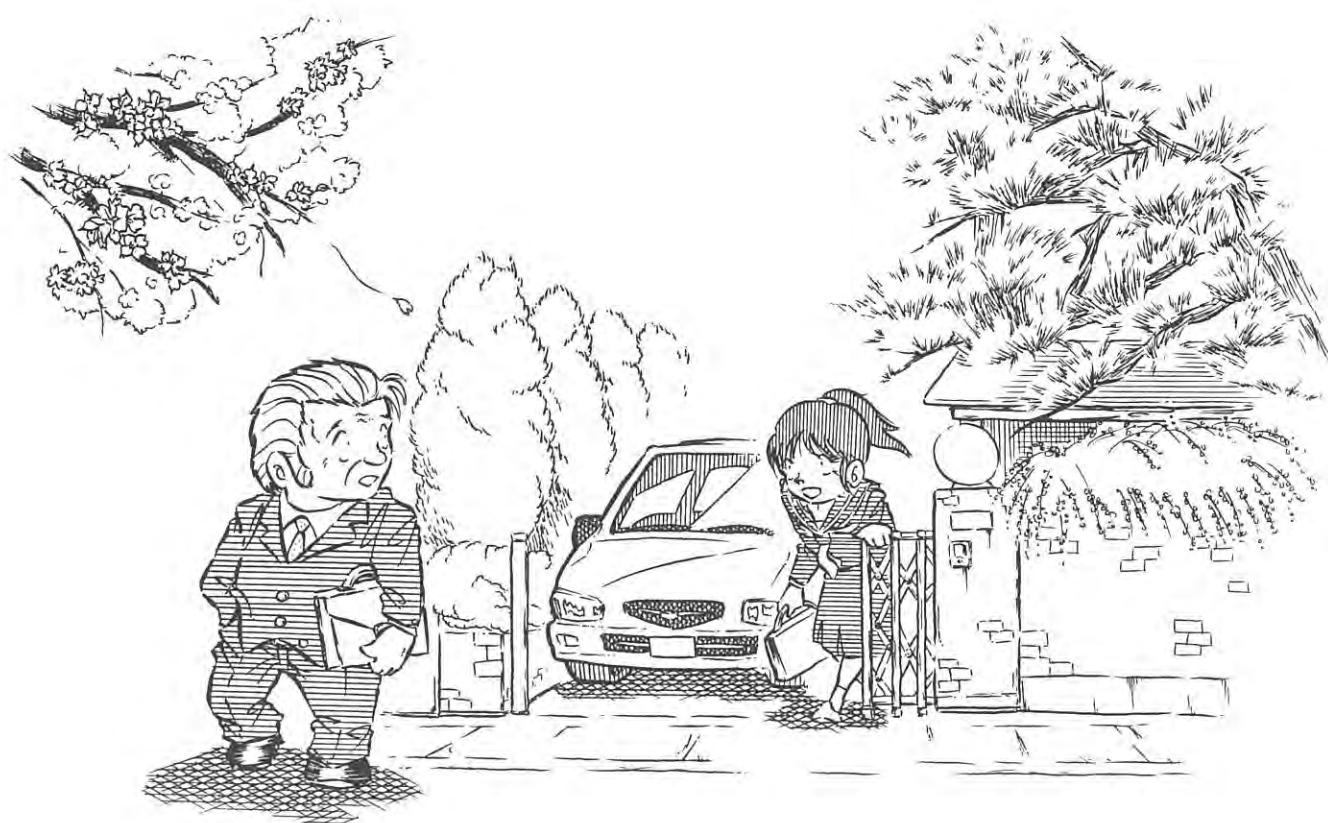
回収資源としての紙、ビン、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルなどの処理は市民と事業所から排出されたものは別々に扱われています。「廃棄物の処理および清掃に関する法律（廃掃法）」に、事業系一般廃棄物として自己処理が明示されているからです。しかし、現実には豊中市の調査でも、事業所から出されるごみの分別状況はあまり良くありませんし、事業所から出されるごみは現在でも増加を続けています。この法律は必ずしも、資源を循環して使うという現在の課題に対応している法律だとは言えません。市民も事業所も共通な回収資源は、応分な負担を考慮しながら、地域にステーションを設けて、きちんとした方法で回収する体制を作り上げていく必要があります。こういった問題こそ、パートナーシップを発揮して解決していきましょう。

**関連行動**

- ・地域住民等が開催する環境行事等へ事業者として積極的な協力と参加を図ろう。

車降り 歩いて楽し 散歩道

思わず寄り道 したくなるまち



## 4章. 環境問題に配慮した交通のあり方を考えよう

わが国は1997年の地球温暖化防止京都会議（COP3）において、二酸化炭素の排出量を1990年レベルより6%削減することを約束しました。わが国の二酸化炭素排出量は現在もなお増加し続けており、削減に向けてかなりの努力を必要としています。なかでも、民生用のエネルギー使用と運輸関係での増加傾向が大きくなっています。運輸部門の二酸化炭素排出量がわが国全体の排出量に占める割合は19%です。運輸部門での削減のためには、交通量の発生を抑えていく交通需要マネジメントが必要となります。

また、家庭での二酸化炭素の発生量の中で、ガソリンの占める割合はかなり大きいことから、家庭での二酸化炭素発生削減にとっても、マイカー利用の削減が大事になります。大気汚染をなくした快適な街の環境、事故の少ない安全な街のあり方を考える上でも、環境問題に配慮した交通のあり方を考えていきましょう。

- 行動提案64 不要なアイドリングはやめよう
- 行動提案65 経済速度での走行を心がけよう
- 行動提案66 急発進・急加速をやめて、アクセルを踏む量が一定になるような運転を心がけよう
- 行動提案67 車の窓を開けてエアコンを切るなど、エアコンの使用を控えよう
- 行動提案68 荷物もガソリンを食べます。車を倉庫代わりにしないようにしよう
- 行動提案69 車の走行を妨げ、渋滞の原因となるような駐停車はやめよう
- 行動提案70 燃費向上のため、タイヤの空気圧を定期的に点検しよう
- 行動提案71 事前に地図などで走行経路を調べ、無駄な走行を減らそう
- 行動提案72 車の購入を考えるとときは、より低公害な車を選ぼう
- 行動提案73 一人乗りのマイカーはもったいないから、声をかけて相乗りしよう
- 行動提案74 共同集配システムなどの自動車利用が少ない効率的な輸送方法を考えよう（荷物も相乗りさせよう）
- 行動提案75 ノーマイカーデー（大阪府は毎月20日）へ積極的に参加しよう
- 行動提案76 マイカー使用を控えて、公共交通機関を優先的に利用しよう
- 行動提案77 健康と環境のために、ちょっとくらいなら歩こう
- 行動提案78 正しく自転車駐輪場を利用し、自転車利用のルールを守ろう
- 行動提案79 積極的にまちづくりに参加して、歩いて楽しいまちをみんなで作ろう
- 行動提案80 車いす、ベビーカーにやさしい道のある豊中のまちをつくろう
- 行動提案81 自家用車を利用せずとも便利に楽に移動できる交通システム作りを考えよう
- 行動提案82 低公害車導入に向けたエコステーションの整備を促進しよう

行動  
提案 **不要なアイドリングはやめよう**  
64

コンビニでの買い物や、荷物の積み下ろし、駐車場待ちなど、ちょっとした駐車の際にエンジンを止める。簡単なことのようにですが、交通部会の実施したアンケート調査でも「これまでに意識してアイドリングストップを実行した」ドライバーは約44%と、このスタイルを身につけたドライバーはそれほど多くありません。しかし、「Stop!アイドリング」キャンペーンを実施した後では「意識してアイドリングストップを実行した」ドライバーが約70%と、多くの人々が地球温暖化防止とアイドリングストップとの関係を知るようになりました。

継続的に同乗者が声をかけてあげたり、事業所などで指導していくことも大切です。

乗用車が10分間のアイドリングを止めるだけで、ガソリン約140ccの節約になります。1台の乗用車が1日1時間のアイドリングストップを1年間行くと、ガソリン約310ℓ（燃料代で約3万円、CO<sub>2</sub>が炭素換算で約200kg、NOX<sup>◆</sup>が約900g）の節約になります。これはガソリン乗用車（2000cc）が約6,000km走行した際のCO<sub>2</sub>排出量と、約7,200km走行した際のNOX排出量に相当します。

アイドリングストップは、本人の環境に配慮する意識ひとつでおこなえるエコドライブです。

◆ NOX：窒素酸化物。一酸化窒素、二酸化窒素などの総称で、自動車(特にディーゼル車)からの排出が問題となっている。光化学スモッグや酸性雨の原因となっている。

**関連行動**

- ・とよなか市民環境会議特製の「Stop!アイドリング」ステッカーを貼り、周りの人にアイドリングストップを呼びかけよう。
- ・アイドリングストップ実施による燃費向上を算出し、社内表彰などに反映させよう。
- ・納品、荷待ちなどの時間調整のために車を離れるときは、アイドリングストップをしよう。
- ・踏切等において3台目以降に並んだ時や駐車場待ちなど、1分以上の停車が予想されるときは、アイドリングストップをしてみよう。
- ・ひも付き鍵を導入し、車から離れるときのアイドリングストップを徹底しよう。

行動  
提案 **経済速度での走行を心がけよう**  
65

交通状況にもよりますが、車は一定の速度で走り続けると燃費がよくなります。

大型のディーゼルトラックを使った実験では、燃費にして2.6km/ℓ（120km/h）と4.2km/ℓ（80km/h）もの差があります。これは1日500km走行したときに1年間で燃料費にして113万円！もの差になります。

（制限速度は守りながら）経済速度<sup>◆</sup>で走るように心がけましょう。スピードを出しすぎると、加減速の機会も多くなり燃費が悪くなります。

◆ 経済速度：最も燃費が良くなる走行速度。車種等によって異なるが、一般的には高速道路では80km/h程度、一般道路では30~60km/hくらいが目安となる。

**関連行動**

- ・新御堂筋や中央環状線では、60km/hでの走行を心がけよう。
- ・一般道路では制限速度を守り、走行しよう。

行動  
提案  
6.6

### 急発進・急加速をやめて、アクセルを踏む量が一定になるような運転を心がけよう

やむを得ないとき以外の「急」がつく操作が、燃費に悪影響を及ぼすことは想像に難くありません。AT車ではアクセルを深く踏み込むと、それだけシフトアップが遅くなり燃費によくありません。前述の大型ディーゼルトラックを使った実験では、燃費にして3.0 km/ℓ (60~70 km/hの波状走行時)と5.0 km/ℓ (65 km/hの安定走行時)もの差があります。できるだけアクセルを踏む量が一定になるような運転を心がけ、安全の面からも「急」操作を避けましょう。

また最近の車は、アクセルから足を離れた状態でエンジンが一定回転数以上になると、エンジンへのガソリン供給がストップします(エンジンプレーキ)。減速時にはエンジンプレーキを適切に使うことで、燃費の向上が図れます。

#### 関連行動

- ・「急」操作を避け、安全運転のためにも車間距離をとるようにしよう。
- ・減速時には、エンジンプレーキを適切に使おう。

行動  
提案  
6.7

### 車の窓を開けてエアコンを切るなど、エアコンの使用を控えよう

アイドリング状態でエアコンをオンにした時、オフの時と比べて10分間で約116 ccのガソリンを余計に消費しています。

夏場の駐車場などで、乗車する前に窓やサンルーフを開けて高温になった車内の空気を車外に逃がすことで、エアコンの負担を減らし、エンジンからエアコンに奪われるパワーを少しでも減らせば、その分が燃費に反映されます。

#### 関連行動

- ・日除け等を活用して、駐車中の車内温度上昇を防ごう。
- ・ロマンチック街道を走行するときは、窓を開けてロマンチックな雰囲気を楽しもう。

行動  
提案  
6.8

### 荷物もガソリンを食べます。車を倉庫代わりにしないようにしましょう

車をよく調べてみると、意外と unnecessary な荷物を積んでいるものです。余分な荷物もガソリン消費のもとです。

1名乗車の時と比べて、4名乗車して60kgの荷物を積んだ状態では、100kmの走行で約1ℓ余計にガソリンを消費します。無駄な荷物を車から降ろすだけで環境は少し救われます。

また、バネ下重量<sup>◆</sup>は一説には「バネ下の1kgの軽量化はバネ上の3kgに相当する」と言われ、車の燃費などに影響します。不必要に径や幅の大きいタイヤの使用は燃費に不利になります。

◆ バネ下重量：サスペンションの先で路面に追従して動く部分の重量のこと。このバネ下重量はタイヤの動きに合わせて激しく上下に動く部分であるので、ここの重さは車の性能に大きく影響をもつといわれています。

#### 関連行動

- ・不必要に径や幅の大きいタイヤの使用はやめよう。

行動  
提案  
69

### 車両の走行を妨げ、渋滞の原因となるような駐停車をやめよう

渋滞は、加減速を強いられたり、停止時間が長くなるので（できればエンジンを止めたいところですが）、ガソリンの無駄遣いにつながります。

違法駐車をしないことはもちろんのこと、そうでない場合も歩行者や自転車の通行を妨げると、それによって自動車などの流れが妨げられ渋滞になります。車を停めるときには、交通の妨げにならないように注意しましょう。

#### 関連行動

- ・駐車をする際には、歩行者、自転車利用者等の交通を妨げないように注意しよう。
- ・右折車両が原因で渋滞しているときは、右折車両を優先して通してあげよう。

行動  
提案  
70

### 燃費向上のため、タイヤの空気圧を定期的に点検しよう

タイヤの空気圧は安全運転面だけでなく、燃費にも影響します。適正値から  $0.5\text{kg}/\text{cm}^2$  減った状態では、100km の走行で約 0.26 ㍓余計にガソリンを消費します。ガソリンスタンドではサービスで空気圧を見てもらえます。定期的にタイヤの空気圧を点検する習慣を身につけましょう。

エンジンオイルなどの潤滑油を定期的に交換することは、エンジンを良好な状態に保ち、燃費向上、騒音防止などつながります。

#### 関連行動

- ・エンジンオイルの交換など、エンジンの定期的な整備点検により車を適正な状態に保とう。

行動  
提案  
71

### 事前に地図などで走行経路を調べ、無駄な走行を減らそう

無計画、無目的に車を走らせたり、地図などで十分に道を調べずに車を走らせることは、不必要に燃料を消費することになります。特に、知らない道では加減速が多くなったり、道に迷ったりと余分に燃料を消費しがちになります。知らない道を走るときには、事前に地図などで道を調べ、同乗者にも協力してもらい、スムーズな運転を心がけましょう。

#### 関連行動

- ・事業者は長時間の時間調整を強いるような運行計画を見直そう。

行動  
提案  
72

### 車の購入を考えると、より低公害な車を選ぼう

自動車による環境問題には、地球環境と地域公害の問題があります。地球環境問題には、エネルギー効率のいい（燃費のいい）、CO<sub>2</sub>をあまり出さないで走れる省エネ車が必要です。更に地域公害防止のためには、CO<sup>◆</sup>、HC<sup>◆</sup>、NO<sub>x</sub>などの排出を減らした低公害車が必要になります。今後はクリーンビークル<sup>◆</sup>を積極的に使っていきましょう。



クリーンエネルギー自動車の購入に対して「クリーンエネルギー自動車普及整備事業」にもとづいて、国からの補助を受けることができます。電気自動車（ハイブリッド車を含む）や天然ガス自動車の対象となり、同格既存車との価格差の 1/2 以内又は天然ガス車への改造費の 1/2 以内の補助が受けられます（平成 10 年度）。また、クリーンエネルギー自動車の取得に対して国税、地方税の軽減措置を受けることができます。

- ◆ クリーンビークル：従来のガソリン車やディーゼル車に比べて、環境への影響を少なくした自動車。省エネ車、低・無公害車などの車種を総称する。クリーンエネルギー自動車とも言われている。
- ◆ CO：一酸化炭素。わずかな量でも中毒を起こす危険性がある。ガソリンや軽油が不完全燃焼したときに発生する。自動車の場合、触媒によってほとんど除去される。
- ◆ HC：炭化窒素。ヒドロカーボンとも言われる。気温が上がると光化学スモッグの原因となる。植物には大敵で、枯死の原因となる。自動車の場合、触媒でかなりの部分を取り除いている。

既存のディーゼル車を 100%としたときのクリーンビークルの効果			
車種	CO <sub>2</sub> 排出量	NO <sub>x</sub> 排出量	黒煙等排出量
既存のディーゼル車	100%	100%	100%
天然ガス自動車	70～80%程度	10～30%程度	0
メタノール自動車	110%程度	50%程度	0
ハイブリッド自動車	80～90%程度	70～80%程度	30%
電気自動車	0(発電時を考慮すると40～50%程度)	0(発電時を考慮すると10%程度)	0

### 関連行動

- ・より低公害な車を利用して、豊中の空をきれいにしよう。
- ・車の購入時などは使用目的を考えて、不必要な大型（排気量の大きな）車の選択を避け、使用目的に合った適正規模の自動車を選択しよう。
- ・原動機付きバイクを電気自転車に変えてみよう。
- ・アイドリングストップ・スタートシステム等の省エネ技術や低公害車の導入に努めよう。
- ・低公害車、最新規制適合車を利用しよう。

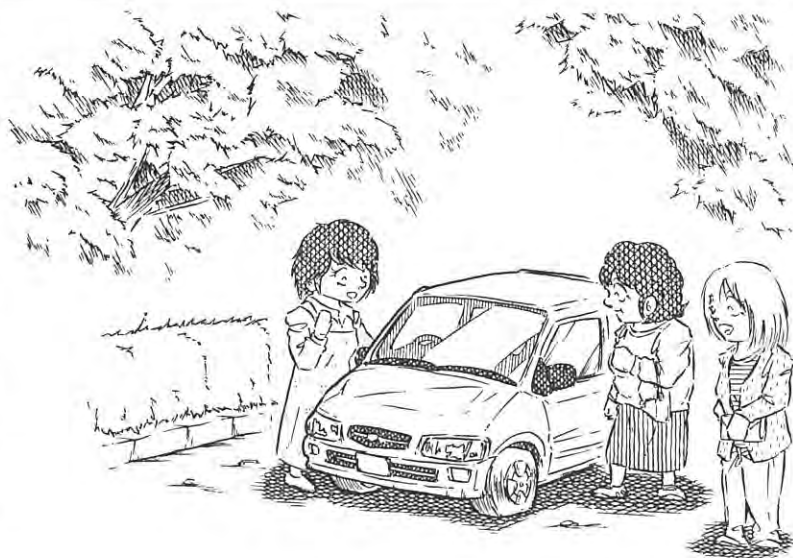
### 移動方法

行動  
提案  
73

一人乗りのマイカーはもったいないから、声をかけて相乗りしよう

車は、その気軽さや行動半径の広さから、つい用事を思いつくとその都度外出に利用してしまいがちです。あらかじめ一日の行動予定を確認しておく、車ででの不必要な外出を防ぐことができます。

通勤時などの毎朝毎夕の渋滞も、車の中で一人でイライラしているよりも、仲の良いご近所さん同士で乗っている方が退屈しません。一人乗りのマイカーはもったいないから、声を掛け合って相乗り♦をしましょう。



- ◆ 相乗り：自動車の乗車効率(1台あたりの乗車人数)を高めることにより自動車交通量を削減する方法。主にアメリカで実施されており HOV(High Occupancy Vehicle)と呼ばれている。相乗りを促進するために、HOV 専用車線や専用ランプの整備、HOV を優先する駐車場整備等、様々な取り組みがなされている。

### 関連行動

- ・行き先が共通の人や荷物は同じ車に乗せよう。
- ・車で買い物に出かけるときは、家族に声をかけて一度の外出ですませよう。

### 移動方法

行動  
提案 74 **共同集配システムなどの自動車利用が少ない効率的な輸送方法を考えよう（荷物も相乗りさせよう）**

1994年度の貨物分野におけるエネルギー消費量のうち、営業・自家用貨物自動車の占める割合は88%にもなります。マイカーでみんなが相乗りするのと同様に、荷物も相乗りすることができます。

個々の事業所で効率的な車両運行計画を検討していくことはもちろんのこと、近所の店同士や地域で荷物の効率的な輸送方法を考えると、地域的に交通量削減が行えます。

例えば、福岡市天神地区での共同集配システムでは、参加した30社が個別に配送する場合と比べて、62%の交通量削減効果が達成できています。

- ◆ 共同集配：共同輸配送ともいわれる。物流システムの合理化によって貨物車の削減を図る手法の一つ。具体的にはある地域に対して配送業者が個々に集配送するのではなく、一括して集配送を行うことで交通量の減少、輸配送の効率化、コストの低減、運転手不足の解消などを図る。

### 関連行動

- ・共同配送などの物流システムをつくり、輸送車数を減らす工夫をしよう。
- ・商店街の荷物は同じトラックで運ぼう。
- ・必要以上の短時間配送、不経済な配送をなくし、なお一層の計画的配送に努めよう。
- ・物流の効率化および空荷配送削減のための共同配送システムを地域で検討しよう。

### 移動方法

行動  
提案 75 **ノーマイカーデー（大阪府は毎月20日）へ積極的に参加しよう**

大阪府の「毎月20日はノーマイカーデー」に、府下主要10路線での交通量が、約7%程度減少していることが報告されています。

毎月20日だけでなく、レスカー運動などをマイカーの相乗り等と一緒にすると全体的な交通量削減につながります。

- ◆ レスカー運動：1週間に一回、10日に一回など個人がそれぞれ期間を決めて、通勤等でのマイカー使用を自粛する運動。同一地域にある複数の企業や自治会などで計画的に取り組むと、地域的な交通量削減につながる。

### 関連行動

- ・事業所において「マイカー自粛の日」の励行・推進を図ろう。
- ・職場でのレスカー運動の励行・推進を図ろう。

### 移動方法

行動  
提案 76 **マイカー使用を控えて、公共交通機関を優先的に利用しよう**

自家用自動車のエネルギー原単位（一人の人を運ぶのに必要なエネルギー量）は、バスの約4倍、電車の約6倍になります。もし、あなたが公共交通機関で行けるとところに一人で車に乗って行くと、余分

に5人分の負荷が地球環境へかかることとなります。

想像して下さい。渋滞のせいで公共交通機関を使ったときよりも時間がかかり、お金を払って駐車場に車を停めて、挙げ句の果てに周囲の人からは「環境にやさしくない人」などという目で見られてしまう場合もある…。割に合わないと思いませんか？

#### 関連行動

- ・マイカーの利用を自粛し、各種交通機関を合理的に利用することで、自動車の交通量を減らすように努めよう。
- ・社有車は企業の駐車場に保管して、通勤用には使用しない。
- ・送迎バス等を利用して、通勤・通学などでの公共交通機関の利用を推進しよう。
- ・通勤や買い物にはできるだけ公共交通機関を利用しよう。

#### 移動方法

行動  
提案 **健康と環境のために、ちょっとくらいなら歩こう**  
77

何気なく車に乗って出かける場所で、歩いていけるところがありませんか？少しだけ時間と気持ちに余裕をもって家を出ると、歩いたり自転車に乗って行っても車に乗って行く時と比べて、かかる時間があまり変わらないところって結構あります。

暑さ、寒さを肌で感じ周りの風景を観察しながら歩いたり、(安全には注意して)自転車に乗って行ってみて下さい。ストレスも解消して、健康に良いですよ。

#### 関連行動

- ・15分くらいは歩いて通勤しよう。
- ・通勤・通学駅まではできるだけ歩こう。
- ・ショッピングには歩いていこう。
- ・外出1.0km以内は必ず歩き、1.0~2.0km以内なら自転車を利用しよう。

#### 移動方法

行動  
提案 **正しく自転車駐輪場を利用し、自転車利用のルールを守ろう**  
78

車道上では自転車は交通弱者ですが、歩道上では歩行者に対して加害者となり得ます。また、放置自転車や、駐輪場の不法使用によって駐輪スペースが無くなり駐輪場からはみ出した自転車は、歩行者や自転車利用者の通行を妨げ、歩道上での渋滞を引き起こします。

気持ちよく風を切って自転車に乗るためにも、自転車利用のルールを守りましょう。

#### 関連行動

- ・商店街など、歩行者が多い場所では自転車を降りて押そう。
- ・歩道の上を自転車で走るときはスピード



を出しすぎず、安全に配慮しよう。

- ・自転車は駐輪場等に置くように心がけ、歩行者等の通行の妨げにならないよう注意しよう。
- ・近所に車で行くのをやめ、徒歩や自転車で行こう。

歩きたくなるまち

行動  
提案  
79

### 積極的にまちづくりに参加して、歩いて楽しいまちをみんなで作ろう

「環境に配慮した交通って何？」と考えたときに「そんなこと言ったって、バスの停留所は遠いし、自転車に乗ろうにも歩道は狭いし、車道は危険だし…」とっていませんか？

そう思うあなたは、歩いて楽しいまちをつくるためのまちづくりをはじめませんか？豊中市にはまちづくりに取り組む人たちを支援するための「まちづくり条例」があります。

まちづくりをすすめていくと、分からないことや難しいことが出てきますが「まちづくり条例」にもとづいて、市職員の皆さんが色々とアドバイスをしてくれます。

安心して歩けるまちづくりは、まずあなたが歩き出さなければ始まりません。

#### 関連行動

- ・地域のルールづくりをすすめよう
- ・地域の交通環境を守るために環境協定を考えてみよう。
- ・新聞等に投書したり、市役所に相談に行ったりして、みんながまちづくりを考えるきっかけをつくろう。

歩きたくなるまち

行動  
提案  
80

### 車いす、ベビーカーにやさしい道のある豊中のまちをつくろう

まちづくりを考えていくときに、車いすやバギーを使った人たちも安心して利用できるまちについても考えてみましょう。例えば、坂道をのぼるとき、長時間の信号待ちなどのとき、手近に手すりなどがあれば高齢者の方などが今よりも安心して外出できるようになると思いませんか？

#### 関連行動

- ・自転車の利用しやすいまち、道を考えてみよう。
- ・住居系施設では所有者用駐車・駐輪スペースを敷地内に設けよう。
- ・来客用駐車場の確保に努めよう。
- ・商業系等各種施設所有者は、自転車置き場の設置に努めよう。

歩きたくなるまち

行動  
提案  
81

### 自家用車を利用せずとも便利に楽に移動できる交通システム作りを考えよう

まちづくりを考えていくときに、車に頼らなくても楽に移動できる交通システムも考えてみましょう。例えば、通勤・通学のために、最寄りの鉄道駅やバス停留所の近くに駐輪場を設置してみたり、バスの停留所の間隔を狭くしたり、車にのみ頼らなくても移動できる交通システムがあればいいと思いませんか？実際に、P&R<sup>◆</sup>やバス専用道の設置、LRT<sup>◆</sup>など海外や国内で新たな交通システムへの移行や実験が行われています。

- ◆ P & R : パーク・アンド・ライドと呼ぶ。都心の周辺部の鉄道駅等に駐車場を設置して、都心部まで公共交通を利用するシステム。都心部への自動車流入量の抑制や公共交通への転換を目的として考えられてきた。鉄道の代わりにバスを利用する P&BR(パーク・アンド・バスライド)もある。奈良県(P&BR)や鎌倉市(P&BR)などで実験が行われており、神戸市(P&B, P&BR)などでは実際に行われている。
- ◆ L R T : Light Rail Transit(ライト・レール・トランジット)の略。路面電車と都市高速鉄道の間位置するシステムで、地上、高架、地下のどこでも走行が可能であり、地区の特性に応じて走行経路が選択できる。建設費が安いことや、超低床車両が導入でき高齢者や身障者の利用増進にもつながることから、欧米の多くの都市で導入されている。

### 関連行動

- ・病人、高齢者、障害者が気軽に利用できる交通を考えていこう。
- ・バスや電車の乗り継ぎをはじめとした利便性向上など、さらなる公共交通網の整備を検討しよう。

### 歩きたくなるまち

行動  
提案  
82

### 低公害車導入に向けたエコステーションの整備を促進しよう

まちづくりを考えていくときに、将来の交通システムにも対応できるまちを考えてみましょう。

例えば低公害車が普及してくると、ガソリンスタンドだけの設備では十分に対応できなくなります。交通部会に参加している事業所からも「エコステーションが無いために低公害車が導入できない」という声が聞かれます。エコステーションを整備して豊中を走る自動車が低公害車になると、空気もおいしく、空もきれいになると思いませんか？

エコステーションを整備する際には「エコステーション事業」にもとづいて、電気、天然ガスなどの設備種別に設備の設置や運営、改造に対して国の補助制度があります。

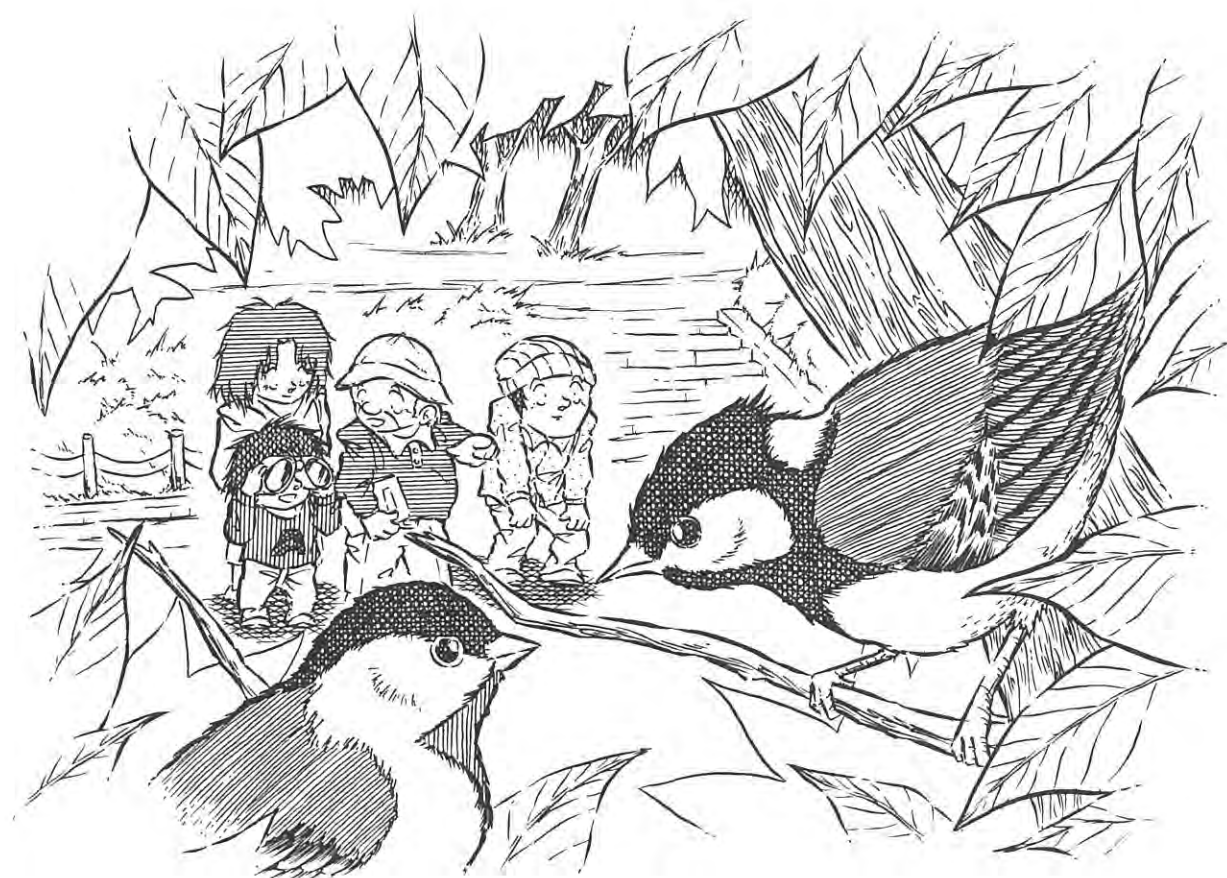
- ◆ エコステーション：ガソリンスタンドや LP ガススタンドに低公害自動車用燃料供給設備を併設する燃料供給所を「エコステーション」と呼んでいる。

### 関連行動

- ・積極的に低公害車を使用していこう。

地域から わがまちよくなる ころろみを

皆で考え 行動するまち



## 5章. パートナースhipで地球環境を守ろう

持続可能な社会を実現するために、従来の行政主導のすすめ方でなく、地域住民全体で、地域の望ましい環境像を描き、その実現に向けての具体的な行動を決定していく、そして自らが決定した目標に向けて、自らが行動していく、これがローカルアジェンダ21策定の基本的な考え方です。

市民・事業者・行政がそれぞれの責任と立場で、子どもたちの環境を大事に守っていくための行動を考え、協働し実践することが求められています。

- 行動提案83 地球環境問題を自分たちの日頃の暮らしのなかから考えよう
- 行動提案84 エコキャラバン隊の環境出前講座を招くなど、地域や企業で環境学習をすすめよう
- 行動提案85 6月の環境月間には家庭や学校、事業所の環境度をチェックしてみよう
- 行動提案86 クリーンランドや下水処理場、資源リサイクル工場を見学して、暮らしを見直そう
- 行動提案87 身近な地域の資源マップや環境マップを作成して、暮らしの改善・まちづくりに役立てよう
- 行動提案88 市民の環境目標、企業人の環境目標を市民や企業の中に広めていこう
- 行動提案89 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）を駅や集会所など人の集まるところでPRしよう
- 行動提案90 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）を参考に、市民環境会議の構成団体で行動の取り組み目標を考えよう
- 行動提案91 地球環境を守るため、子どもから高齢者まで、男性も女性も、個人も事業所も、それぞれのアイデアを出し合おう
- 行動提案92 職場や家庭の中で「もったいない」精神を取り戻そう
- 行動提案93 一人ひとりや一つの団体ではできないことでも、市民環境会議のみんなの力を借りて実現しよう
- 行動提案94 私たちの行動から出る二酸化炭素を、当面1割削減めざしてがんばろう
- 行動提案95 市民、事業所、行政、学校や公民館と協力して、環境データのネットワークをつくろう
- 行動提案96 生産活動や消費行動の環境影響を広い視野で考えて、他者（次世代、他地域、他の生物など）に責任を押しつけないようにしよう
- 行動提案97 みんなでとよなか市民環境会議を育てよう
- 行動提案98 環境問題やまちづくりなどに取り組む人々が交流しあう拠点を整えていこう
- 行動提案99 とよなか市民環境会議の財政基盤を整えていこう
- 行動提案100 とよなか市民環境会議のホームページを開設・充実していこう
- 行動提案101 ファックス、手紙などで、環境問題についてのみんなの提案・情報を集めよう

行動  
提案 **地球環境問題を自分たちの日頃の暮らしの中から考えよう**  
8 3

地球温暖化やオゾン層の破壊、有害化学物質の地球規模での汚染は、経済的利益を重視して、環境に配慮しないですすめてきた産業や社会のあり方に大きな原因があります。個人の生活、会社での生活、事業所の活動を地球環境問題の視点から見直して、子どもたちの未来のためにごみ、エネルギー、資源などの問題を学習して、ライフスタイルの変革につなげていきましょう。

行動  
提案 **エコキャラバン隊の環境出前講座を招くなど、地域や企業で環境学習をすすめよう**  
8 4

とよなか市民環境会議では、会議に参加している大学生を中心に、地域やグループの集会に出かけていって環境問題のについて話をする環境出前講座を行ってきました。豊中市の環境企画課に相談すれば、環境問題の講師を紹介してもらえます。地域や職場で、環境問題について学ぶことから始めましょう。

行動  
提案 **6月の環境月間には家庭や学校、事業所の環境度をチェックしてみよう**  
8 5

とよなか市民環境会議では家庭の環境度のチェックを行ったり、職場のオフィスが環境に配慮した活動を行っているかを判断するための点検表（チェックリスト）を作成しました。自分では環境には配慮しているつもりでも、本当に環境に配慮した活動を行っているか、とよなか市民環境会議のつくった環境度のチェックリストで、自分の家庭や職場の環境度を一度チェックしてみましょう。

家庭の環境度のチェック表「豊中市民版環境家計簿」、オフィスの環境度チェック表「とよなかエコオフィス21活動チェックリスト」については豊中市生活環境部環境企画課（06-6858-2106）までお問い合わせください。

行動  
提案 **クリーンランドや下水処理場、資源リサイクル工場を見学して、暮らしを見直そう**  
8 6

豊中市のごみはいまだに増え続けています。このままいけば大阪府の最終処分場ももうすぐ一杯になり、あちこちにごみがあふれだすかもしれません。あなたの出したごみがどうなっているか、どんなに人手をわずらわせているか、現場の人の作業や苦勞を聞いてみましょう。無造作に捨てられたごみが自然を汚染している豊島（てしま：瀬戸内海）などの現場についても考えてみましょう。

行動  
提案 **身近な地域の資源マップや環境マップを作成して、暮らしの改善・まちづくりに役立てよう**  
8 7

あなたは自分の周りのまちのことを知っていますか、どんな植物が育っていると思いますか、どんな生き物が住んでいると思いますか。豊中にも狐が住んでいるんですよ。あのまちかどにはどんな歴史が残されているのでしょうか。豊中はどんなまちになったらいいかと考えていますか。まちを知る、その



ためにまちの自然資源や、生活情報、環境情報を地図にしてみましよう。

広報

行動  
提案 88 **市民の環境目標、企業人の環境目標を市民や企業の中に広めていこう**

こんな豊中にしたい、こんな環境を取り戻したい、今すぐには難しいけれども、21世紀にはこんな企業活動をしていきたい。とよなか市民環境会議に参加している市民や企業人で市民の環境目標、企業人の環境目標を作りました。市民環境会議のつくった二つの環境目標を市民や企業の人に広げ、自分たちのものにしていきましょう。

広報

行動  
提案 89 **豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）を駅や集会所など人の集まる場所でPRしよう**

豊中アジェンダ21は地球環境を守るために作り出された市民や企業の自発的・主体的な行動計画です。まずこの行動提案をとよなか市民環境会議の参加者の力で、多くの市民に知ってもらおう活動をすすめていきましょう。駅や集会所、自治会などいろいろな場所でこの豊中アジェンダ21を広めていきましょう。

広報

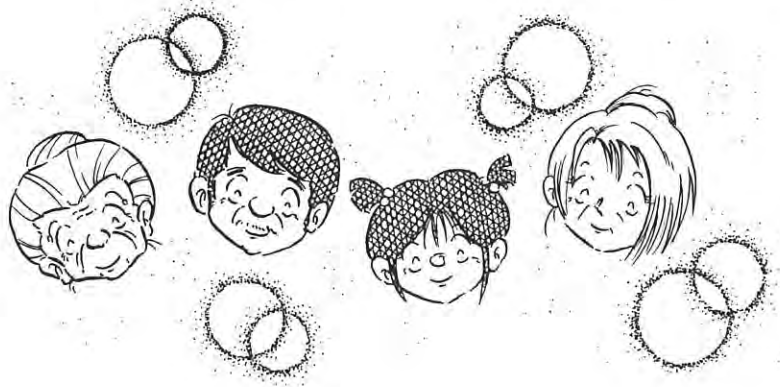
行動  
提案 90 **豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）を参考に、市民環境会議の構成団体で行動の取り組み目標を考えよう**

地球環境を守るための行動を豊中市民みんなのものにしていくために、この豊中アジェンダ21から自分たちができる活動に合う行動提案を選びだしたり、それぞれの団体独自の目標を計画して取り組んでいきましょう。

広報

行動  
提案 91 **地球環境を守るため、子どもから高齢者まで、男性も女性も、個人も事業所も、それぞれのアイデアを出し合おう**

豊中アジェンダ21は市民から寄せられた、地球環境を守るためのたくさんの提案から、より多くの市民が取り組みそうな内容を選びだしたものです。この他にもいろいろな立場や年代の人たちが生活を改善していくたくさんの知恵も持っていることでしょう。立場、性別、年齢などを超えて、どんどんアイデアを出し合って、行動に結び付けていきましょう。



協働

行動  
提案 92 **職場や家庭の中で「もったいない」精神を取り戻そう**

私たちはあたりまえのようにたくさんの石油を使い、資源を使って生活していますが、この大量生産大量消費によって支えられてきた使い捨て社会は、たくさんのごみを生み出しています。子どもたちの

環境も奪おうとしています。お米一粒でもたくさんの労力や他の生き物のいのちをいただいていることになります。ものを粗末にするなという「もったいない」精神をとりもどしていきましょう

協働

**行動  
提案  
93** 一人ひとりや一つの団体だけではできないことでも、市民環境会議のみんなの力を借りて実現しよう

豊中アジェンダ21の課題には、市民、事業所、行政それぞれの主体単独では解決の難しい問題も多くあります。利害の対立する問題も含まれているかも知れません。しかし、こうした問題こそ、とよなか市民環境会議のパートナーシップの取り組み行動のなかで、解決の方向性を見出していく必要があります。

たとえば、これまで学校で剪定した枝は豊中市伊丹市クリーンランドに持ち込まれて焼却されていました。この剪定した枝を燃やすのは、せっかく植物が蓄えた二酸化炭素を大気中に放出することになるし、土づくりの点でももったいない、なんとか堆肥にできないかという提案が市民から出されました。これまででしたら、提案の受け皿もなく、実際に提案が行政に伝わったとしてもなかなか実行できなかったでしょう。しかし、とよなか市民環境会議自然部会の市民の提案を、会議の構成員である造園業者が引き受けて、堆肥化の方法を行政に企画・提案され、教育委員会の了承もあって、市民が参加校を募り、現在10校で剪定した枝が学校の隅に積まれて堆肥になっています。

生活部会のマイバッグキャンペーンも、市民と量販店との対話のなかですすめられてきました。ポスターも行政の縦割りの枠を超えて、生活環境部、環境事業部、市民生活部の3部局と市民環境会議との合同で出すことができました。市民、事業者の対話や主体的行動から行政の調整や支援の中で難しい問題にも取り組んでいきましょう。

協働

**行動  
提案  
94** 私たちの行動から出る二酸化炭素を、当面1割削減をめざしてがんばろう

豊中市環境基本計画では、豊中市から排出する二酸化炭素を1990年レベルの8~9%削減という目標をたてました。家庭から排出する二酸化炭素を減らすのにもっとも効果の大きな行動は、家庭でのマイカー利用の削減です。マイカーをよく利用する家庭では、自動車使用時間の2割削減をめざしてみましょう。車のない家庭でも、エアコンの使用時間を削減したり、ごみの分別を促進して、現在は燃やしてしまっている紙などのリサイクルを促進することにより、二酸化炭素排出の削減が可能になります。市民・事業所のそれぞれの1割程度の削減計画を作成し、行動に移しましょう。

協働

**行動  
提案  
95** 市民、事業所、行政、学校や公民館と協力して、環境データのネットワークをつくろう

豊中市の環境についての情報は市内のさまざまな組織がさまざまな形でもっています。市役所のなかでも生活環境部、環境事業部、土木部、教育委員会など、それぞれの活動の中で地域の情報、環境の情報をたくさんもっています。地域活動を行っている公民館、市民団体、自治会、事業所などもそれぞれの環境情報を有しています。このたくさんの環境情報がまだ全体のものとして市民の目に届く状態になっていないのではないのでしょうか。とよなか市民環境会議を軸にして、豊中のさまざまな環境情報をつ

なぎ合わせる活動を起こしていきましょう。

協働

行動 提案 96	<b>生産活動や消費行動の環境影響を広い視野で考えて、他者（次世代、他地域、他の生物など）に責任を押しつけないようにしましょう</b>
----------------	---

現在製品のライフサイクルアセスメントという考え方が出てきています。これは、工場で製品が原料から生産され、販売され、使用され、役目を終えて廃棄されていくという、製品の一生にわたっての環境への影響全体を評価して、環境破壊を防ごうとするものです。廃棄物となったときにリサイクルしやすいか、環境を汚染しないか、世界規模での環境影響はないかなど広い視野での検討が必要になります。

たとえば、いまでも一部の国で使われている有機塩素系の農薬は、暑い赤道地方で使われたものが寒い極地方へ移動して海洋生物に濃縮されたり、先進国で120万トンあまり生産されたPCBがアザラシやイルカに蓄積して、生存の危機をもたらしています。先進国の熱帯林材の消費による熱帯雨林の減少、二酸化炭素の増加による子や孫への地球温暖化の影響、フロンによるオゾン層の破壊など、私たちの大量消費のつけを子どもや他の国、他の生物に押しつけないような生活をつくり出していきましょう。

拠点づくり

行動 提案 97	<b>みんなでとよなか市民環境会議を育てよう</b>
----------------	----------------------------

とよなか市民環境会議は豊中のさまざまな団体や事業所、市民が地球環境を守る行動を進める目的で集まって結成されました。個人でも、企業でも、団体でも、市民環境会議に加わって、地球環境を守る行動を大きな流れにしていきましょう。

拠点づくり

行動 提案 98	<b>環境問題やまちづくりなどに取り組む人々が交流しあう拠点を整えていこう</b>
----------------	---

自立した市民運動をすすめていくためには、いつでも情報を発信したり、収集できる体制や運動の連絡調整役、外部との連絡役も必要です。市民が訪ねていけば、いろいろな情報交換や運動のアドバイスが得られるためにも、活動の拠点が必要となります。拠点となる人や場所を整えていきましょう。

拠点づくり

行動 提案 99	<b>とよなか市民環境会議の財政基盤を整えていこう</b>
----------------	-------------------------------

とよなか市民環境会議の活動を軌道に乗せていくためには、持続的な活動を支える資金的な充実が必要です。行政に依存する体制から市民環境会議が自立するためには独自の活動費を準備できることが必要となります。組織の強化や基金づくりなど、財政基盤を整える活動もすすめていきましょう。

拠点づくり

行動 提案 100	<b>とよなか市民環境会議のホームページを開設・充実していこう</b>
-----------------	-------------------------------------

インターネットによる情報の交流は今後ますます必要なものになっていくものと思われます。とよなか市民環境会議のホームページを開設・充実させ、多くの市民の情報発信や収集に利用できるように充実していきましょう。



拠点づくり

行動  
提案  
101

ファックス、手紙などで、環境問題についてのみんなの提案・情報を集めよう

市民の情報の拠点となる場所に、いろいろな情報やアイデアをファックスや手紙で集めて、たくさんの情報を整理して、市民の活動に役立つように整えていきましょう。

※ 豊中市生活環境部環境企画課 電話 06-6858-2106 FAX06-6842-2802

## 第三部 豊中アジェンダ21

### (地球環境を守るとよなか市民行動計画) の実行体制のあり方

---

1章. 推進体制

2章. 普及啓発活動の方向

3章. 総会とシンポジウムの運営

4章. 市民環境会議の組織基盤の確立

5章. その他の課題

# 1 章. 推進体制

## 1. 普及・啓発－伝え・ひろげる－

豊中アジェンダ21を成功させるためには、市民の誰もがこの計画を知り、一歩ずつできることから取り組んでいく大きなうねりをつくり出していかなければなりません。そのため、まず、広く市民に伝え、共感の輪を広げていく活動が必要になります。

これまですすめられてきた運動をさらに発展させるためには、引き続きワーキンググループ会議による企画・提案、役員会・総会における総意の確認による普及・啓発運動、市民・事業者それぞれが小さな発信源となって、周りの人たちに運動を呼びかけていく必要があります。

行政にも、市民や事業者による普及・啓発運動を協働して支える体制が求められます。豊中市は、行政計画である豊中市環境基本計画において、豊中アジェンダ21の実行体制を支援するさまざまな行政施策を計画しています。

## 2. 進行管理－確かめる－

豊中アジェンダ21の行動計画については、今すぐに始められるもの、やや長期的な取り組み計画を必要とするもの、個人や一事業所で取り組めるもの、パートナーシップですすめなければならないものなど様々なレベルがあります。この計画を実効性あるものとしていくために、いくつかの指標を定めて、計画の進行状況を毎年確認することが必要になります。当面、目標理念(表2—1)に示したように、環境目標・指標を達成するために、関連する取り組み行動計画を具体化していかなければなりません。また、パートナーシップでの行動や長期的な行動については、今後の取り組みの中で、計画の具体化、スケジュール化をすすめていくことが必要となります。

そのため、早急に進行管理のあり方やそのすすめ方について、具体化する必要があります。

## 3. 財政基盤

豊中アジェンダ21の行動計画を推進していくためには、会議の運営、広報活動、調査活動、他の自治体との交流、学識経験者からの学習など、さまざまな活動が必要になってきます。こうした活動を支えるためには、財政的基盤を確立する必要があります。

豊中アジェンダ21策定にむけたこれまでの市民環境会議の活動は、行政の財政的支援に大きく依存してきました。しかし、一般に行政の財政的支援だけに依存した従来型の運動は動員人数などの表面的な成果とか形にこだわってしまう傾向にもあります。豊中アジェンダ21は一時の動員や行動でなく、豊中市民のすべての生活と行動を地球環境を配慮したものに変革していく自発的で持続的な活動を求めています。

そのためには、行政の厳しい財政事情も考慮して市や国などの財政的支援や補助に依存するだけでなく、独自の事業活動や市民・事業所・団体などの会費や寄付金などによる安定した自主的財政基盤の確立を図っていく必要があります。

表 3-1 推進体制確立に向けた各主体のかかわりかた

	とよなか市民 環境会議	同左WG会議	市民	事業者	行政
普及啓発	○	○	○	○	○
進行管理	○	○		△	○
財政基盤			○	○	○

## 2章. 普及啓発活動の方向

豊中アジェンダ21は、行動提案のメニューとして作成したもので、いまずぐ取り組んでいた  
だきたいもの、少し時間をかけて準備をしていかないと取り組めないもの、だれでも取り組めるも  
の、家庭で取り組んでいただきたいもの、事業所で取り組んでもらいたいもの、子どもたちにも取  
り組んでもらいたいもの、さまざまな主体のパートナーシップで取り組む必要のあるものなど、い  
ろいろなレベルの行動提案を含んでいます。

どんな行動提案であれ、まずできることから行動に入っていくことが変革のはじまりとなりま  
す。これらの提案の中から、各主体別に内容を選択して、たとえば、小中学校の副読本にするとか、  
事業者の環境学習のテキストにするとか、自治体や商店会の勉強会に使うなどの、さまざまな活用  
が考えられます。

また、こうしたリーフレット類を作成していくことを通じて、豊中アジェンダ21策定にかか  
わってきた市民や事業者、行政との協働体制が深められていくことが大切です。

毎年、市内のさまざまな活動を学びあい、支え合う意味で、前年のすぐれた行動団体に対する  
顕彰などの制度も検討しましょう。

キャンペーン行動月間にポスターやチラシなどを発行したり、たとえば豊中商工会議所などの  
市内の経済団体や市民活動グループなど、さまざまな組織を通じて繰り返し豊中アジェンダ21を  
広報していきましょう。

豊中アジェンダ21が市民の広い支持を受けて実効性のあるものとなるためには、環境施策以  
外の行政施策の中にもその考えが生かされるとともに、行政による市民・事業者の自発的な取り組  
みに対する支援活動を必要とします。例えば、事業者のISO14000シリーズ取得にむけての講習  
会等の支援、あるいは省エネルギー設計推進への優遇制度、低公害車導入に向けた都市基盤の整備  
など、市民や事業者の活動を支える基礎的な条件整備が考えられます。

## 3章. 総会とシンポジウムの運営

豊中アジェンダ21の進行管理の大きな節として、総会（6月）、豊中アジェンダ21・シンポ  
ジウム（11月または12月）の年2回の全体会議が位置付けられます。

豊中市は行政計画である豊中市環境基本計画に基づいて、環境施策に関連した100近くの定量的

指標を継続的に把握することにしていきます。そこで豊中アジェンダ21でも第一部で述べた以下の4つの目標理念と、それらを代表的に表す指標として6つの環境目標を設定しました。

### (1) 参加・協働

#### ①協働（パートナーシップ）型活動参加者数

「参加・協働」を代表し、市民の主体的な環境への取り組みを示す指標

### (2) 広域性・国際性

#### ②1人あたり二酸化炭素排出量

「広域性・国際性」を代表し、人間活動の地球環境に及ぼす負荷を総合的に示す指標

平成22（2010）年次において、対1990年度比 8～9%削減をめざす。

### (3) 資源循環・負荷低減

#### ③ごみの純排出量

「資源循環・負荷低減」を代表し、資源・環境問題に対する市民レベルの行動を総合的に示す指標

平成22（2010）年次において、対1995年度比 3～5%削減をめざす。

#### ④雨水浸透率

「資源循環・負荷低減」を代表し、市全体の土地利用状況並びに水環境の状況を総合的に示す指標

平成22（2010）年次において、1970年代後半の0.21をめざす。

#### ⑤環境基準達成状況

「資源循環・負荷低減」を代表し、環境への負荷の程度と市民の健康・安全性に及ぼす影響を総合的に示す指標

平成22（2010）年次において、100%をめざす。

### (4) 共存・共生

#### ⑥緑被率

「共存・共生」を代表し、都市として、快適性および多様な生態系の維持能力を示す指標

平成22（2010）年次において、17%をめざす（現況15.5%）

これらの指標には市民や事業者の行動の成果が反映されることになるので、その動向を参考にしながら、目標の達成に向けて市民や事業者の活動を組み立てていく必要があります。

6月に行われる市民環境会議総会では、当該年度の活動の基本的な方向を確認するとともに、前年度において、パートナーシップ活動の拠点づくりや環境保全行動においてきわだった活動を行った個人や組織を広く市民に紹介・顕彰し合っていく場とすることも必要です。

11月もしくは12月に行われる豊中アジェンダ21・シンポジウムでは、豊中市環境基本計画に基づく行政施策の成果の確認と、1年間の市民や事業者の行動のまとめの場として、さらには



お互いの活動を客観的に評価し、内外の活動の交流や相互学習の場とするとともに、次の展開に向けての共通の課題を認識し合うことが重要です。

## 4章. 市民環境会議の組織基盤の確立

豊中アジェンダ21の行動提案は、3～4年で見直し修正を行ない、10年で抜本的な改訂を行なうものとします。

1章に述べた推進体制を支える組織を確立する必要があります。現在、NPO法案など市民活動を進めるための制度が整えられつつありますが、とよなか市民環境会議の法人化など、組織基盤のあり方の検討も今後すすめていく必要があります。今後、3～5年をめどに方向を明らかにしていきましょう。

また、市民環境会議の組織を支える財政基盤の確立のために、環境基金などの創設についても5～6年後をめどに検討をすすめていく必要があります。

また、こうした組織基盤の検討を行うためにも、現在、行政組織に依存している豊中市民環境会議の事務局機能を強化し、市民主体で運営する事務局を作っていく必要があります。

表3—2 計画のタイムスケジュール

	1999-2000	2001-2	2003-4	2005-6	2007-8
計画	計画の発進		計画の見直し	修正スタート	改訂作業
普及啓発	率先行動の継続	率先行動の継続と拡大	行動目標の達成		
推進組織作り	拠点づくり	法人化の検討			
財政基盤の確立			環境基金の創設		
評価			実効性の評価		10年の総括

## 5章. その他の課題

### 1. 専門家との交流

第一部で述べたように、豊中アジェンダ21の策定にはコーディネーター、アドバイザーとして専門家のアドバイスを受けました。今後も市民が幅広い分野にわたる行動提案を遂行していくためには、さまざまな分野の専門家の助言や情報提供などの協力や助言を得ることが重要です。

### 2. 広域的な交流

地球環境の保全という目的のためには、近隣自治体や市民団体との交流など、行政枠を越えた広域的な環境保全行動を行う必要があります。事務局機能を充実させながら、周辺の市民や自治体、大阪府などとの協働行動をすすめていきましょう。

また、市民主体で行われてきたとよなか市民環境会議の活動や豊中アジェンダ21を海外にも発信し、地球環境を守る世界の市民との協働行動を推進していきましょう。

# 資 料

---

- 1.おもな活動経過
- 2.市民意見
- 3.市民の環境目標
- 4.企業人の環境目標
- 5.とよなかエコオフィス21活動チェックリスト（事業所用）
- 6.とよなかエコオフィス21活動チェックリスト（個人用）
- 7.行動提案一覧

## おもな活動経過

### I. 豊中アジェンダ21の特徴

#### 1. 豊中アジェンダ21と豊中市環境基本計画は車の両輪

行政計画である豊中市環境基本計画に対して、豊中アジェンダ21は市民・事業者に環境を守るための自主的・自発的行動をすすめるものである。両方の計画が相互に支えあって目標設定、行動の連携をすすめる。

#### 2. 市民（パートナーシップ組織）による行動提案の作成

101の行動提案は、市民・事業者・行政からなる作業部会で、提案行動案の募集、選択、分類、行動提案の表現、解説内容のチェックを行ってきた。

#### 3. 短歌による“望ましい環境像（目標イメージ）”を持つ

12の環境目標像は豊中アジェンダ21を実行してつくっていききたい豊中のイメージをうたで表したものである。

#### 4. 行動メニュー方式

行動提案はいろいろな立場や意識を持った人たちがどこからでも環境問題に取り組み、そこから考えていただけるようメニュー形式にした。高い山の目標に向かって、豊中アジェンダ21というベースキャンプを設立して、101のアタックルートを示して登山隊(市民)に提案した段階である。

#### 5. アクション&プラン

行動提案を机上の議論だけで作るのではなく、自らが取り組み、行動した結果をもとに市民に行動を提案した。

### II. 策定の経過

#### 1. とよなか市民環境会議の発足

1996年5月 環境問題に取り組む市民・事業者・行政のパートナーシップ組織として発足。会長は豊中市長、役員会、ワーキンググループ、コーディネーター（盛岡通 大阪大学工学部教授）を持つ。

#### 2. ワーキンググループ会議

市民環境会議の行動組織として発足、市民の環境目標などを策定した。アジェンダ策定作業が始まってからは、各部会の調整、率先行動の調整、対外的な窓口として働いてきた。座長 奥野享（とよなか環境フォーラム市民の会代表）

#### 3. 豊中環境塾

1997年5月～8月 豊中アジェンダ21策定に向けて、参加者の共通理解を得るために、環境問題についての連続講座を行った。参加者から豊中アジェンダ21策定作業部会への参加希望者を募った。また、この環境塾の講師の弘本、新田、佐川さんにアドバイザーを依頼した。

#### 4. 作業部会の設立

1997年9月～1999年3月 豊中アジェンダ21の条文を策定する目的で、市民・事業者からの募集や推薦によって生活、自然、産業、交通の4つの部会を設立した。部会のなかで市民のライフスタイルの変革、環境に配慮した産業活動のすすめかた、自然のゆたかな豊中にしていくための活動のあり方、環境面から見た豊中の交通問題、パートナーシップの課題など、環境問題の学習とる。アクション&プランで示したような率先行動を重ねながら条文を策定してきた。

#### 5. アクション&プラン（率先行動）

- とよなか市民版環境家計簿 1998年6月配付 1年分  
生活部会の手作りの環境家計簿（カレンダー形式）。市民に7千部配付し、はがきで回収。
- 自然観察活動 1997年から1999年にかけて  
市内の自然観察会の実施や市民ウォーキングでの自然観察への働きかけを行った。
- とよなかエコオフィス21活動 1998年8月、10月の2回実施  
産業部会が独自に作成したオフィスの環境対応度チェック。100社が参加。

- **ストップ・アイドリング** 1998年度 7月  
市民環境会議オリジナルの呼び掛けステッカーを作成。1万5千部配付
  - **学校剪定枝の堆肥化** 1998年度 10校がモデル校  
これまで燃やされてきた学校の樹木の剪定枝をチップ化、校庭で堆肥にした。
  - **マイバッグキャンペーン** 1998年11月  
市内量販店と協力して、市民への啓発と買い物袋についてのアンケートを実施した。
  - **ビオトープづくり** 1998年4月から  
身近なところに多様な生物の住める場を作る運動。1999年1月から15中で実際に作業開始。
  - **病院機密書類のリサイクル** 1998年11月第1回実施  
機密書類を再生紙としてリサイクルさせる運動。市内病院連絡協議会が先鞭をつけた。
  - **竹炭づくり** 1999年2月～3月 2回実施  
里山管理で切り出した竹をクリーンランドに作ったドラム缶製炭焼き窯で竹炭にした。
  - **エコキャラバン隊** 1997年から1999年 約50カ所で実施  
大阪大学などの学生のチームが、幼稚園から高齢者まで各地で環境問題の出前講座を行った。
6. **市民意見の募集** 1998年12月12日から1999年1月22日  
豊中アジェンダ21案についての市民の意見、提案を求めた。33人から意見はがきを回収。
7. **シンポジウムの開催**
- **設立総会シンポジウム** 1996年6月25日  
盛岡通さんの講演
  - **第二回総会シンポジウム** 1997年6月24日  
盛岡通さんの講演
  - **豊中アジェンダ21シンポジウム** 1997年12月6日  
「地球環境を守る市民・企業・行政の新たな挑戦」 部会報告、中学生発表
  - **第三回総会シンポジウム** 1998年6月12日  
「総会&トークイベント」 市内のさまざまな活動についての報告
  - **第二回豊中アジェンダ21シンポジウム** 1998年12月12日  
「いま、豊中は動き出すー未来の環境は、わたしたちの行動からー」  
豊中市環境基本計画、豊中アジェンダ21の両計画概要の発表、寸劇、活動報告
  - **災害と環境を考えるシンポジウム** 1999年1月16日  
「災害と環境、一緒に考えませんか。市民の参加と協働による地域づくり」
  - **21世紀の企業・交通・街を考える** 1999年3月2日  
佐川直史さん、新田保次さんの講演、エクハルト・ハーンさんの飛び入り講演

### III. 表彰

- **地球温暖化防止活動大臣表彰** 1998年12月12日  
豊中アジェンダ21の策定の過程で行ってきた率先行動が地球温暖化防止活動の優秀事例として大臣表彰を受賞した。この賞は地球温暖化防止活動に顕著な功績のあった個人・団体に与えられる。
- **財団法人省エネルギーセンター会長賞** 1999年2月3日  
(財)省エネルギーセンターから省エネルギー市民活動の優秀事例として、他の7団体とともに受賞した。

### IV. 活動助成

- **財団法人 省エネルギーセンター**  
豊中市民環境会議の活動を市民などに広報するための費用について助成を受けた。
- **全国モーターボート競走施行者協議会**  
ストップ・アイドリング運動についての印刷費用などの助成を受けた。

## 豊中アジェンダ 2 1 に対する市民意見

12月に市民に提案した「豊中アジェンダ 2 1 (案)」に対して、以下のようなご意見が寄せられました。

	アジェンダに対する意見	摘要
1	・ 97、98年度にストップ・アイドリングステッカーを15,000部配布実績とありますが、どこにどのように配布されたのでしょうか？見たことがありません。	C
2	・ 行政も率先実施中の由、各部署の各々の目標と実績を定期的に公表されたい	F
3	4章 交通 ・ 駅周辺の放置自転車ゼロ作戦 ・ 心ころとからだを健康にする歩いてこち良い道をつくりましょう	A
4	・ 公園管理について、すみずみまで一本の草も残さず刈り取り、それをいずこかへ持ち去ってしまうことを改められたい。そのような場所は必要最小限にとどめ、草むらを作り、刈り取った草はその場に残し、野の素朴な草花が楽しめ、秋にはキリギリスやコオロギ、マツムシが鳴き、こどもたちが虫取りも楽しめる。そんな多様な生物が共生できる管理を望む。どこからか持ってきた植物だけが大切にされている公園は、緑はあっても自然さがなく、殺風景で趣が感じられない。車窓などからのごみのポイ捨てや禁煙場所での喫煙など、良くない横暴な行為を見てもすなおに注意し合えない社会的風土が出来ているように思う。このアジェンダの推進には、そのような状況を克服し、無謀が通りにくいまちづくりを同時に進行する必要があると思う。何か「正義」が通用するまちづくりと言ったことかも知れない。	A
5	・ 豊中アジェンダの活動素晴らしいですね。今後市民の生活に浸透するためのひとつの提案です。市の広報紙「とよなか」を十二分に活用すること、定まったページを確保して、「エコページ」として、アジェンダの目標、活動の様子、市民への呼びかけ等、くり返し行うこと。その一例として、環境問題に意識を持って暮らしている市民（太陽エネルギー利用、エコカー使用、買い物のしかたの工夫・・・）を紹介、その声を十分に話してもらおうこと等、私たちの身近な実践例をPRしてもらおう。市民のこころを揺さぶることが何より大切だと思う。	C
6	・ 買い物袋持参運動など目にしましたが、実際に活動され、声を上げていることをたのもしく思います。	E
7	・ 国を含めての総ての行政体、及び企業等、まだまだ資源環境問題に関して十分な配慮がされていない面が多々見受けられるので、この面に関して事細かに施策していくことが緊要である。	F
8	・ 各章の行動提案のところ、項目をあげ、それに従って提案内容を並べ替えた方がいいのではないのでしょうか。（たとえば、1章では衣・食・住などでまとめる）また、この提案内容をイラストにすると、とっつきやすくおもしろいのではないかと思います。ひとつ一つでなく、全体をあらわすようなもので。	B
9	・ 一般市民にはまだアジェンダ 2 1 は知れわたっていないと思う。各地域内で講演会等を実施して、一人でも多くの市民が手を携えて環境づくりを心がけていこう、周知徹底することが必要と思われる。	C
10	・ ごみの出しかたひとつを見ても、古いの知識のままに出し続けて、回収方法変更の通知についていけてない。近隣住民の話をする機会がますます減っていく市民に対して、特に、家庭生活の担い手である主婦にどう徹底してライフスタイルの変更をさせるかである。	C

	アジェンダに対する意見	摘要
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは旗振り役の市役所が率先垂範の姿を市民に見せることが必要。意識改革への研修と同時に市役所組織を環境時代に対応できるよう改変することである。</li> <li>・現存する自治会などの会長を起点に、会に環境担当者を置いて、市民のライフスタイル改革を進めることが早道ではないか。市役所はとりあえず、毎月〇日を設定するキャンペーンを市民運動にすることである。</li> </ul>	F C
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜローカルアジェンダが必要なのか、充分解らない。この冊子を読んで行動提案を理解し、実際にうごいていただくためにも是非考えて欲しい。地球サミットとアジェンダを受けて現在に至っている経過はあるが、むしろ市民として身の回りの行動（点）が線となり、面となってひろがっていくことを期待しています。</li> <li>・6ページは7ページの表を理解していただく説明だと思う。なぜ、キャッチフレーズを制定するのか、基本方向の考え方の説明、望ましい環境像がつけられた経緯などをくわえてほしい。</li> <li>・グリーンコンシューマーということばを使ってほしい。</li> <li>・交通の提案については個人の努力を促す項目が多い。多くの二酸化炭素を排出している事業所への提案が弱い。</li> </ul>	A B B D
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローガンだけではなく、実行化する裏付けはありますか？</li> </ul>	C
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流水音発生器の設置の無駄に開眼せよ。その金でそれをなくす教育を。（トイレの音消し流しをやめる教育という意味だと思います）</li> </ul>	B
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の原発処理場をどう考えるか？</li> </ul>	E
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収後、それがどうなっているかの啓蒙活動をしているか？</li> </ul>	A
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流し、信頼し合う。（安心・信頼）</li> <li>・足るを知る（消費は美徳の反省）</li> </ul>	A
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への啓蒙活動を効率よく行う方法は？</li> </ul>	C
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道・バス会社などの（パーク＆ライドの検討など）協力状況はどうなっているか？</li> </ul>	D
20	<p>豊中アジェンダ21の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動面（財政システム、金融メカニズム、投資など）、産業活動面（ゼロエミッションへの具体策は？、貿易と環境、非製造業はどうする？、農林業のエンパワーメントについて）、エネルギー戦略（エネルギー自治）、交通システム（地域・都市構造）</li> </ul>	D
21	<p>ローカルアジェンダ「運動」としての課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利害関係者の取り込み（意志決定のシステム）</li> <li>・市民運動間の連帯 （まちづくり、防災、福祉、労働、人権、国際協力、地域開発）</li> <li>・運動そのものの持続可能性、実効性の追求</li> </ul>	D
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然」については、かなり“子ども”がキーワードとなっているようですが、「アジェンダ21」にも参加しているのか？大人が決めたものを与えるより、話し合いから子どもも一緒にしたほうが良いと思うのですがどうでしょうか。</li> </ul>	C

	アジェンダに対する意見	摘要
23	・実現していくためにしていく活動プラン、パートナーシップの具体的方法をご提示下さい。	C
24	・地球環境をよりよく維持していくためには、つくる側の企業と使用する側の消費者とが理念を同じくして、その中間に指導調整役としての行政やNGO等の働きが一層求められる。	A
25	・環境問題は今一番の重要な問題であり、グローバルな課題ではあるが、全般的にいまひとつ市民のこの問題に関する意識が浅いように思われる。折りある毎に、チラシ、その他啓発、会合などを動員して、その徹底化の実現を果たすようにしていただきたい。	C
26	・豊中市のエコオフィス宣言についても、紙の裏表を使っておられる。行政に言うばかりでなく、もっと考えて実践して欲しい。	A
27	・良い環境をつくるのは、市側だけでなく自分自身の心がけが必要である。	A
28	・生活部会の行動提案（アジェンダ21）のなかで、公共施設の照明と光害対策の項目が抜けている。	B
29	・市民の行動の成果を目に見える形に表して欲しい。数値目標と市民の行動を関係づけて、市民が成果をチェックできるようにして欲しい。	C
30	・道路の清掃、花いっぱい運動等を声かけ合って行い、それを次代を担う子どもたちにアピール、ともに運動を展開していきたい。	A
31	・絵に描いた餅に終わらせないように、今後の行政力に期待するとともに（特に財政的に）、行政マンの無関心と縦割り行政機構を払拭してほしい。（環境問題を他人事と考えている。）	F
32	・暮らし方の章では、16、17にダイオキシンが発生しないように市民が注意することが出ていますが、3章の事業活動の中で塩ビ製品を控えるなどの企業努力（役所も含めて）の部分が明確でないのが不思議です。再生品を使うことだけが環境にやさしいとは思わない。役所も窓付き封筒の使用を検討して下さいね。窓は塩ビですよ。	F
33	・自転車置き場の問題：置くところ駅前がないので困るわ。文句ばかり言われてちっともよくなってないやんか。 ・難しいこと書いているけど、一人ひとりがきちんとやらねばまちはよくならんよ。やれることなら何でもやる。別にこれという行動はないけど、仲間がいないからできないとおもう人は、一人ではなにもできないから。 ・ボランティア行動の問題も、神戸のようにコンサートとかできたらいいのにね。大きななべ囲んでみんなで食べたり、酒蔵でコンサートしてワイン飲んだりしてみたいなあ。	F A E

#### 意見への対処

- A：既に豊中アジェンダ21の計画のなかに盛り込まれています。
- B：豊中アジェンダ21の行動提案、解説の中に取り込みます。
- C：具体的行動を計画する中で反映していきます。
- D：今後の課題として検討していきます。
- E：記録にとどめ、参考にさせていただきます。
- F：行政の計画や施策のなかで検討してもらうようにします。

## 豊中アジェンダ21に対する市民意見－行動提案－

市民に推奨したい行動提案として以下のような提案がありました。

	推奨する行動提案	摘要
1	毎月1回 リサイクル市の開催	B
2	公園や川のごみひろい活動	A
3	自動開閉ドアの再点検	A
4	車の馴らし運転再点検	A
5	部屋の採光関係をチェックして点灯の節約	A
6	ちらし広告等の裏面部の再利用	A
7	チェックシートを作って行動を起こしていこう	A
8	事業所の〇〇割の車を低公害車に変えよう	C
9	事業所としての車利用削減の方向をもっと出す	C
10	車の利用を控えて排ガスを減らそう	A
11	量販店のエコグッズリスト調べ	D
12	文房具おもちゃの塩ビリスト調べ	D
13	傘からの買い物袋づくり	C
14	野や山に出かけて、自然のすばらしさを一緒に感動しよう	A

### 意見への対処

A：既に豊中アジェンダ21の計画のなかに盛り込まれています。

B：豊中アジェンダ21の行動提案、解説の中に取り込みます。

C：具体的行動を計画する中で反映していきます。

D：今後の課題として検討していきます。

E：記録にとどめ、参考にさせていただきます。

F：行政の計画や施策の中で検討してもらおうようにします。



## 豊中の「市民がつくった環境目標」

項目	環 境 目 標
大気	夜空見て 胸いっぱい 深呼吸 星のきらめき 感動のまち
水質	川遊び こどもたわむれ 清流に 鳥も魚も ほっとするまち
音	風之音 鳥のなき声 こちよく こどもらの声 耳傾けるまち
交通	車降り 歩いて楽し 散歩道 思わず寄り道 したくなるまち
歴史環境	いにしへの マチカネワニの ふるさとで 歴史の香り 感じられるまち
人にやさしい 環境	老夫婦 川辺お散歩 睦まじく 緑いっぱい やすらぎのまち
自然との共存	朝がたに 小鳥の声で 目が覚める いのちの営み 発見できるまち
循環型社会	省エネへ できることから 一歩ずつ もったいないと 皆が言うまち
環境学習	生き物に 触れて驚き 感動し 人の心を 育てるまちに
市民参加	地域から わがまちよくする ころみをも 皆で考え 行動するまち
地球環境	次世代や 地球の未来を 考えて 暮らしや社会を 問い直すまち

## 豊中の「企業人の環境目標」

項目	環 境 目 標
省資源	限りある 天然資源を 節約し 未来へ続く 良い品づくり
廃棄物	廃棄物 分別すれば 再資源 市民と企業の 共同作業
省エネルギー	省エネで コスト削減 推進し 企業も地球も 明るい未来
グリーン購入	使用後の 資材の行方 考えて 物品購入 進めるオフィス
ものづくり	環境へ 負荷の少ない プロセスに 創意工夫を 生かせる企業
事業所内緑化	事業所を 花と緑で さわやかに ひとと地球に やさしい企業
通勤・配送	駐車時は エンジンストップ 心がけ みんなで防ぐ 温暖化
地域環境	規制より 一歩進んで 自主管理 市民と企業の 環境づくり
地球環境	次世代の 住み良い社会を 作るため エコシステムを 進める企業
事業所内研修	冷暖房 設定温度は 控えめに マイカー自粛も みんなの自覚
企業参加	企業と 市民が手を 取りあって みんなにやさしい まちづくり

## とよなかエコオフィス21活動 チェックリスト 事業所用

右の欄の該当するところにチェックVを入れて下さい。

積極的に行っているは3点、まあまあ行っているは2点、ときどき行っているは1点、行っていないは0点とします。

大項目	番号	企業行動チェック項目	得点			
			3	2	1	0
省エネルギー	1	白熱灯を蛍光灯へ取り換えたり、照度の必要のない場所は管球をまびくなどの省エネ努力を行っている				
	2	社員にはエレベーターを使わず、自分の足で階段を歩くよう働きかけている(設置されていない場合は2点とします)				
	3	オフィスは省エネルギーを目的として、ブラインドの活用、断熱材、複層ガラスなどの断熱性能を高める工夫がなされている				
	4	空調は冷房時28℃以上、暖房時は20℃以下を基準温度とし、できるだけ使用時間を減らしている。				
環境に配慮した 運輸・交通	5	待機時のエンジンのかけっぱなしや不要なアイドリングの停止など、環境に配慮した運転方法を進めるよう啓発している				
	6	マイカー通勤の禁止、週1回のレスカー運動などマイカー通勤の自粛を進めている				
	7	電気自動車や天然ガス自動車など環境負荷の少ない車(低公害車)の導入、あるいは転換計画を進めている				
事務機・事務用品 (グリーン購入※)	8	オフィスでは、事務用品等のグリーン購入を推進している				
	9	現在使用している事務機器類は省エネ型・省資源型に転換されているか、あるいは、転換計画を立てている				
	10	オフィスには両面コピーが容易にできる機械が導入されている				
省資源	11	オフィスでは古紙混入率の高いOA紙を購入している				
	12	オフィスで使う紙は、両面コピー、両面印刷など、必ず裏面も使うように社員に指示している				
	13	部署内の書類や資料等は、少しのプリントアウトのミス、コピーミス、誤字・脱字などは注釈や修正液等で補って提出できるようにしている				
	14	無駄な書類を個人保管しないよう、オフィスには共通文書の管理システムがある				
	15	節水コマ、節水型フラッシュバルブ、流水音発生器などの節水型便器等を使用している				

※ できるだけ環境への負荷の少ない商品(例 再生紙、リサイクル製品、省エネ製品など)を選んで優先的に購入すること

積極的に行っているは3点、まあまあ行っているは2点、ときどき行っているは1点、行っていないは0点とします。

		得点				
大項目	番号	企業行動チェック項目	3	2	1	0
廃棄物減量 リサイクル	16	オフィスから排出される一般ゴミの量や処理方法などの実態を把握している				
	17	オフィスで使用済みの紙を、P P C用紙、新聞、雑誌、ダンボール、その他の紙に分別してリサイクル業者に渡している				
	18	空き缶、空きびん、ペットボトル、電池等の分別回収がきちんとできようになっている				
地球環境	19	環境家計簿のように、オフィス活動からのCO2発生量を計算するなど、環境への影響を定量的もしくは定性的に把握している				
	20	冷蔵庫やエアコンを廃棄する際に、オゾン層を破壊するフロンを回収出来るようにしている				
	21	地球環境問題に配慮した行動が全社の既定方針として決められている				
環境に配慮した 事業活動	22	環境負荷の少ない素材や生産プロセスの導入のために、自社の生産プロセスを見直す計画を立てている（生産プロセスをもたない場合は2点とする）				
	23	森林の保護のために、梱包材（パレット）等木材の使用量の削減計画を進めている（関係しない場合は2点とする）				
社内環境教育	24	両面コピーの推進、必要最小部数の印刷など、社員が環境に配慮した行動をするよう、社内に啓発ポスターなど掲示している				
	25	リサイクル品など環境に配慮した商品情報を社員に提供している				
	26	社員を対象として、環境保全に必要な情報（指示、出版刊行物等）を提供している				
企業参加	27	地域における再生資源回収等の取り組みに、リサイクル推進の立場から積極的に協力・参加するように努めている				
	28	工場や事業所の周辺を緑化して、地域の住民と気持ちのいい通りをつくるように努めている				
	29	地球環境を守る豊中アジェンダ21の行動計画を策定・推進するとよなか市民環境会議のことを良く知っている				
	30	貴事業所の経営責任者はこのエコオフィス21活動チェックリストを知っていますか				
他の取組行動があれば記入して、得点を10点として下さい。						
合計得点=3の個数（ ）×3+2の個数（ ）×2+1の個数（ ）×1+独自行動得点（ ）=						

## とよなかエコオフィス 2.1 活動チェックリスト 個人用

右の欄の該当するところにチェックVを入れて下さい。

積極的に行っているは2点、まあまあ行っているは1点、行っていないは0点とします。

大項目	番号	企業人行動チェック項目	得点		
			2	1	0
省エネルギー	1	あなたは昼休みや残業時など、不必要な明かりをこまめに消している			
	2	あなたは3階まではエレベーターを使わず、自分の足で歩いて上のようにしている			
	3	あなたは冷暖房時、窓のブラインドの開閉等、空調効果を高めるよう気をつけている			
	4	あなたはトイレで温風乾燥機やペーパータオルを使わないでハンカチを用いている			
	5	あなたは冷房時28℃以上、暖房時は20℃以下を空調基準温度とし、できるだけ使用時間を減らすようにしている			
環境に配慮した	6	あなたは駐停車時などに不要なアイドリングを積極的にやめている			
運輸・交通	7	あなたは週1回以上、バス、電車を利用して、マイカー通勤をできるだけ減らすように努めている			
省資源	8	あなたは環境負荷の少ない再生品や非木材紙などの事務用品を積極的に使っている			
	9	あなたは後の人のミスコピーを防止するためコピー終了の都度クリアキーを押すようにしている			
	10	あなたは両面コピー、両面印刷、メモ用紙など、オフィスで使う紙は必ず裏面も使うようにしている			
	11	あなたは共通資料は個人で保管せず、一部だけ共同で保管するようにしている			
	12	あなたはお茶を飲むときに使い捨ての紙コップ、プラスチックコップでなく、湯飲み等を使っている			
廃棄物減量	13	あなたは職場で、紙類、空き缶、空き瓶、ペットボトル、電池等の分別回収に積極的に協力している			
リサイクル	14	あなたは会社だけでなく、家庭でも、地域の分別回収に積極的に協力している			
エコライフ	15	あなたはカバンの中に薄手の買物袋を入れて、余分な袋をもらわないようにしている。			
他の取組行動があれば記入して、得点を10点として下さい。					
得点合計=2の個数( )×2+1の個数( )×1+独自行動(あれば10点、なければ0点)=					

## 1章. 地球環境のために暮らし方を変えよう

### <資源>

- 行動提案 1 家族で話し合っ、わが家のごみ減量作戦に取り組もう
- 行動提案 2 まだ使える道具や家具はバザーやリサイクル運動に提供しよう
- 行動提案 3 カバンの中に薄手の買物袋を入れて歩こう
- 行動提案 4 まちぐるみで「ごみ」「資源」の分別の推進をしよう

### <エネルギー>

- 行動提案 5 冷暖房は1℃がまんして設定を控えめにしよう
- 行動提案 6 使い終わった電気製品は必ず主電源を切ろう
- 行動提案 7 家を新築したり、改築するとき、自然を利用して夏涼しく、冬温かい設計をしよう

### <食べ物>

- 行動提案 8 食料を買いすぎて腐らせるのはやめよう

### <水>

- 行動提案 9 雨水をためて、打ち水や植木の水やりに使おう
- 行動提案 10 歯を磨いている間は、水道の水を止めておこう
- 行動提案 11 使い終わった食用油はぼろ布に吸い取って、燃やすごみに出そう

### <エコロジー度>

- 行動提案 12 豊中市民版環境家計簿をつけて、地球環境問題を考よう
- 行動提案 13 行楽のごみは自宅へ必ず持ち帰ろう
- 行動提案 14 ばら売りや量り売りの店をひいきにするグリーンコンシューマーになろう
- 行動提案 15 職場や学校のエコロジー度をチェックしてみよう

### <環境毒物>

- 行動提案 16 食品用ラップは生ごみに混ぜないで、燃やさないごみとして分別しよう
- 行動提案 17 ホルムアルデヒドなどの有害物質を発生する建材や、健康に影響を与える物質を出す化学製品の使用は慎重に行おう
- 行動提案 18 便利なもの、新製品は環境や健康、廃棄後のことを考えて使おう

### <地球環境>

- 行動提案 19 オゾン層を破壊するフロンを放出しないよう、冷蔵庫やエアコンを廃棄するときは、回収ルートに乗せよう
- 行動提案 20 熱帯の自然を守るために、ラワン材やチーク材などの熱帯木材から作られた製品の使用を減らそう

## 2章. 自然のゆたかな豊中にしていこう

### <身近な自然>

行動提案 21 近くの社寺林などへ、笹ずれ、葉ずれの音を聞きに行こう

行動提案 22 豊中市で行っている『身近な環境調べ』に参加しよう

行動提案 23 豊中の自然についての情報交流を行おう

行動提案 24 昔から豊中にある木や草の茂った公園をつくろう

行動提案 25 キャンプや野遊び、星空観察など、子どもたちが自然体験できる場を増やそう

行動提案 26 市民の共有財産である街路樹、公園の樹木の維持管理や川の清掃に参加しよう

### <自然の保護>

行動提案 27 古くからの豊中の自然を残す里山、鎮守の森、樹木など身近な自然を育て守ろう

行動提案 28 宅地を造成したり、建物を建てる時は、もとの地形や自然を活かそう

### <農耕地の保全>

行動提案 29 農家との交流や農業体験などの仕組みづくりを進めよう

行動提案 30 市民農園をつくり農地を守ろう

### <生態系の保全>

行動提案 31 多くの生き物たちがすむ島熊山や待兼山のみどりを大切にしよう

行動提案 32 樹木や草花への殺虫剤の使用は控えよう

行動提案 33 先人の苦勞をしのび、安らぎとうるおいをもたらすため池を残そう

### <自然循環>

行動提案 34 落ち葉や剪定枝は燃やさず、堆肥にしよう

行動提案 35 雨が地面にしみ込むよう、土の面をできるだけ増やしていこう

行動提案 36 地下水や湧き水を大切にしよう

### <緑化推進>

行動提案 37 ベランダや庭、生垣などでみどりを増やし、まちの隙間をみどりで埋めよう

行動提案 38 道や広場、水辺などを結び、水とみどりのネットワークを広げよう

行動提案 39 近所のみどりの達人から草木を育てる楽しさを学ぼう

### <多様な自然環境>

行動提案 40 公園や街角にピオトープをつくり、トンボや野鳥を呼び戻そう

### 3章. 環境問題に配慮した事業活動を進めよう

#### <省資源>

行動提案 41 事業所に、コピー用紙、FAX用普通紙、印刷用紙などの裏面を利用するシステムをつくろう

行動提案 42 節水コマ、節水型フラッシュバルブ、流水音発生器などを使用して、水の使用量を削減しよう

行動提案 43 事業所の生産工程や製品を見直して、原材料の使用量削減を計画しよう

#### <環境度>

行動提案 44 とよなかエコオフィス2 1 活動チェックリストをつけて、オフィスの環境度を調べてみよう

#### <廃棄物>

行動提案 45 事業所にリサイクルを目的としたごみの分別システムをつくろう

行動提案 46 産業廃棄物として捨てていたものを資源として循環利用するシステムづくりを検討していこう

#### <省エネルギー>

行動提案 47 事業所の冷暖房は冷房28℃以上、暖房20℃以下を目安に設定し、電力削減を実施しよう

行動提案 48 事業所の電気・ガス・石油類のエネルギー使用量を把握し、削減計画をつくろう

#### <グリーン購入>

行動提案 49 事業所で物品を購入する場合は、グリーン購入を積極的に進めよう

行動提案 50 省エネ型でリサイクルルートがつけられている製品を優先的に購入しよう

#### <ものづくり>

行動提案 51 製品の使用後の再生資源化を考慮して、原材料や部材の検討を行おう

行動提案 52 自社の生産活動を見直して、原材料の選択、加工工程の改善、工程廃棄物の削減に努力しよう

#### <事業所内緑化>

行動提案 53 工場や事業所を緑化して、気持ちのよい通りをつくるよう努めよう

#### <通勤・配送>

行動提案 54 事業用車輛の待機、駐車時のエンジンストップを運転マナーにしよう

行動提案 55 事業所へのマイカー通勤の自粛を進めよう

#### <地域環境>

行動提案 56 規制をクリアーするだけでなく、環境に配慮した事業活動を進めよう

行動提案 57 自社の環境への取り組み情報を市民に公開しよう

#### <地球環境>

行動提案 58 フロン、ハロンなどのオゾン層破壊物質を使用した機器の廃棄時には、回収ルートに乗せよう

行動提案 59 事業所の環境負荷を二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量に換算して求めてみよう

#### <事業所内研修>

行動提案 60 事業所の中を見回して、無駄にエネルギーが捨てられていないかがしてみよう

行動提案 61 従業員に環境情報を知らせ、環境教育を行おう

行動提案 62 リサイクル品など環境にやさしい商品情報を従業員に提供し、協力を得よう

#### <企業参加>

行動提案 63 事業所は、資源の地域回収システムづくりに協力・参加しよう



## 4章. 環境問題に配慮した交通のあり方を考えよう

### <エコドライブ>

- 行動提案 64 不要なアイドリングはやめよう
- 行動提案 65 経済速度での走行を心がけよう
- 行動提案 66 急発進・急加速をやめて、アクセルを踏む量が一定になるような運転を心がけよう
- 行動提案 67 車の窓を開けてエアコンを切るなど、エアコンの使用を控えよう
- 行動提案 68 荷物もガソリンを食べます。車を倉庫代わりにしないようにしよう
- 行動提案 69 車の走行を妨げ、渋滞の原因となるような駐停車はやめよう
- 行動提案 70 燃費向上のため、タイヤの空気圧を定期的に点検しよう
- 行動提案 71 事前に地図などで走行経路を調べ、無駄な走行を減らそう
- 行動提案 72 車の購入を考えるとときは、より低公害な車を選ぼう

### <移動方法>

- 行動提案 73 一人乗りのマイカーはもったいないから、声をかけて相乗りしよう
- 行動提案 74 共同集配システムなどの自動車利用が少ない効率的な輸送方法を考えよう  
(荷物も相乗りさせよう)
- 行動提案 75 ノーマイカーデー（大阪府は毎月20日）へ積極的に参加しよう
- 行動提案 76 マイカー使用を控えて、公共交通機関を優先的に利用しよう
- 行動提案 77 健康と環境のために、ちょっとくらいなら歩こう
- 行動提案 78 正しく自転車駐輪場を利用し、自転車利用のルールを守ろう

### <歩きたくなるまち>

- 行動提案 79 積極的にまちづくりに参加して、歩いて楽しいまちをみんなで作ろう
- 行動提案 80 車いす、ベビーカーにやさしい道のある豊中のまちをつくろう
- 行動提案 81 自家用車を利用せずとも便利に楽に移動できる交通システム作りを考えよう
- 行動提案 82 低公害車導入に向けたエコステーションの整備を促進しよう

## 5章. パートナースhipで地球環境を守ろう

### <調査・学習>

- 行動提案 83 地球環境問題を自分たちの日頃の暮らしのなかから考えよう
- 行動提案 84 エコキャラバン隊の環境出前講座を招くなど、地域や企業で環境学習を進めよう
- 行動提案 85 6月の環境月間には家庭や学校、事業所の環境度をチェックしてみよう
- 行動提案 86 クリーンランドや下水処理場、資源リサイクル工場を見学して、暮らしを見直そう
- 行動提案 87 身近な地域の資源マップや環境マップを作成して、暮らしの改善・まちづくりに役立てよう

### <広報>

- 行動提案 88 市民の環境目標、企業人の環境目標を市民や企業の中に広めていこう
- 行動提案 89 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）を駅や集会所など人の集まるところでPRしよう
- 行動提案 90 豊中アジェンダ21（地球環境を守るとよなか市民行動計画）を参考に、市民環境会議の構成団体で行動の取り組み目標を考えよう
- 行動提案 91 地球環境を守るため、子どもからお年寄りまで、男性も女性も、個人も事業所も、それぞれのアイデアを出し合おう

### <協働>

- 行動提案 92 職場や家庭の中で「もったいない」精神を取り戻そう
- 行動提案 93 一人ひとりや一つの団体ではできないことでも、市民環境会議のみんなの力を借りて実現しよう
- 行動提案 94 私たちの行動から出る二酸化炭素を、当面1割削減めざしてがんばろう
- 行動提案 95 市民・事業所・行政、学校や公民館と協力して、環境データのネットワークをつくろう
- 行動提案 96 生産活動や消費行動の環境影響を広い視野で考えて、他者(次世代、他地域、他の生物など)に責任を押しつけないようにしよう

### <拠点づくり>

- 行動提案 97 みんなでとよなか市民環境会議を育てよう
- 行動提案 98 環境問題やまちづくりなどに取り組む人々が交流しあう拠点を整えていこう
- 行動提案 99 とよなか市民環境会議の財政基盤を整えていこう
- 行動提案100 とよなか市民環境会議のホームページを開設・充実していこう
- 行動提案101 ファックス、手紙などで、環境問題についてのみんなの提案・情報を集めよう

発行:とよなか市民環境会議

作成:1999年(平成11年)3月

〒560-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1

豊中市生活環境部環境企画課内

T E L:06-6858-2106 FAX:06-6842-2802